

学習院同窓会「桜友会」の会員誌

桜友会報

秋・冬号

[No.91]
2007.12.1

特集

学習院の今へ!

緊急インタビュー

福井憲彦学長

学習院大学に戦後生まれの学長が誕生!

キャンパス・ウォーク

「変わる学習院」を歩く

学習院各学校の主な教育改革



トピックス

卒業40周年記念同窓会

講演録

高島肇久

「問われる外交力」

洞爺湖サミットまで1年

桜友会臨時総会 & 新年会 1月8日(火)

桜友会ホームページ

<http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/>



在校生との 結びつきを 強めよう

桜友会長 内藤頼誼 (昭29高)

平成19年5月24日の桜友会総会で亀井泓先輩の後を継いで会長に選任されてから、はや半年、瞬く間に過ぎたように感じられます。亀井会長ご在任の5年間、桜友会の活動が目覚しく強化されたことは、ここに繰り返すまでもありません。私は前会長の敷かれた路線を継承し、さらに発展させていくことを基本に、会の運営に当たっていきたくと考えております。これまで新米の会長を支えてくださった会員各位に、この場を借りて厚く御礼申し上げますとともに、これからもさらなるご協力をお願いいたします。

桜友会は「平成19年度基本方針」として、①学習院への支援強化②会員向け活動の充実③組織の強化の三本柱を掲げてきました。もちろん、これらの課題は単年度に達成できるものではありません。可能なところから辛抱強く、実現への努力を重ねていく必要があります。

①に関して、私がとくに重視しているのは、在校生との結びつきです。いま世の中で「学習院らしさ」が認められているとすれば、それはやはり皇族の方々も学ばれる学校としての品位を残しているからで、これを失ってはならないと考えるからです。そのためには、母校の伝統を身につけた卒業生と在校生の交流の場をできるだけ増やしていく必要があるでしょう。とりわけ平成20年度から桜友会の基本会費を学校側が代理徴収する方向で折衝が進んでおり、これが実現すると、学生は大学3年次で正会員と同様に会費納入済みになります。これまでも

就職活動への支援をはじめ、桜友会は在学生向けの様々な対応をしてきましたが、これからは「学生会員」を桜友会の輪の中に一層取り込んでいくことが求められます。

在校生と桜友会を結びつける絆として、輔仁会各部のOB、OGの役割はとくに重要です。スポーツ各部はもちろん、文化サークルも含めて、優れた業績を顕彰するなど、部活動を盛り立てていくのは、卒業生の務めだと考えます。部活に打ち込み、充実した学園生活を過ごした記憶が母校愛の源であることは、会員多数の皆さんがよくご承知のことでしょう。

会員向け活動の充実については、本部と全国支部の連携を強化していくことを第一に、各支部の活動の一層の活性化に期待しております。学習院公開講演（6月長野市、11月さいたま市）での地元会員のご奮闘ぶりには本当に頭が下がります。院長はじめ学校幹部との温かい交流は、「学習院らしさ」の表れでもあります。

7月の新潟県中越沖地震では、日赤救護チームの一員として被災直後の柏崎市、刈羽村に入った新潟桜友会会員の方から事務局にメールで現地の模様を伝えていただき、これがきっかけで被災地の会員にお見舞い状を送りました。災害に際して桜友会ができることは限られていますが、これからも万一の場合は現地との連絡を密にして、被災地の会員にせめて励ましの言葉を届けたいと思います。

桜友会報

秋・冬号 [No.91] 2007.12.1

桜友会ホームページ

<http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/>

毎月の催事等のご案内をしています。

CONTENTS

特集 学習院の今へ!

■緊急インタビュー

福井憲彦学長6

学習院大学に戦後生まれの学長が誕生!

■キャンパス・ウォーク

「変わる学習院」を歩く11

学習院各校の主な教育改革

「ピラ校」見学会のお知らせ16

■会長所感

在校生との結びつきを強めよう 内藤頼誼(桜友会長)1

■会長退任に当たって

「有難うございました」 亀井泓(桜友会名誉会長)33

■トークン・カフェ

「問われる外交力」 高島肇久(学習院大学法学部特別客員教授)4

卒業40周年記念同窓会34

桜友会特別フォーラム37

桜友会「月例会」38

第68回学習院公開講演39

秋季全国支部長会40

桜友会ライブラリー46

夏目漱石と学習院48

■学部会

経済学部同窓会41 法学部同窓会41 文学部会42

理学部同窓会43 草上会44 常磐会42

■桜友会通信

役員候補者推薦のお願い17



取り壊されるピラミッド校舎

平成20年1月8日(火)
桜友会臨時総会と
新年会を開催します。

(17頁参照)

桜友会報第90号(新緑号) お詫びと訂正

波多野院長ご講演録について

中・高等科桜友会総会(平成19年2月17日開催)での波多野院長のご講演「これからの学習院」について、院長ご本人のご了承、ご確認を一切得ないまま要旨を掲載してしまいました。このためお話の運びや数字の中で修正を要する部分が記事中にありました。院長先生はじめご関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

南1号館について

南1号館(理学部棟)がピラミッド校舎とともに取り壊される予定としたのは、誤りでした。同館は歴史的な評価もある外観は保存したまま、内部を演習室や小型の教室に改造して授業などに使用し続ける計画です。学校法人学習院、学習院大学、また理学部同窓会をはじめ桜友会会員の皆様にご心からお詫び申し上げます。

桜友会情報発信広告委員会「桜友会報」編集担当

今日は7月7日、来年の7月7日は北海道洞爺湖サミットの開会日です。

サミットまであと1年。日本では5回目の開催になります。当初、外務省は京都迎賓館を使って開催したかったようですが、安倍晋三総理の決断で洞爺湖になりました。そのかわり京都では外相会合が開かれます。

首脳会議は、7月7日から3日間行われます。でも、サミットはそれだけではありません。関連会議が次々に入り、洞爺湖の首脳会議で締めくくりとなるのです。テーマは環境問題と開発問題。早魃、豪雨、洪水といった異常気象、それに伴う食糧難と貧困。環境メカニズムが崩れ、貧しい人たちがとくにひどい目にあっています。これは地球の安全保障に関わる問題です。温暖化防止と同時に開発途上国の貧困対策を急がねばなりません。

これらの問題を日本がどう取り上げていくか。日本のODA（政府開発援助）は減り続けています。世界から見れば、日本の熱意が問われるわけで、外務省はなんとか歯止めをかけたいたい知恵を絞っています。その先頭に立っているのが麻生太郎外相です。日本のブランド・イメージを高めようとしています。ブランド・イメージとはソフト・パワーがどのくらいあるか、つまりその国がどのくらい魅力があり、他の国の人から尊敬を集める力があるかということです。軍事力

や経済力といったハード・パワーの対極にある概念です。

麻生外相はマンガに着目しました。日本にはマンガという素晴らしいソフト・パワーがあると麻生氏は言います。ワシントン郊外のシヨッピングセンターに日

第14回「法学部同窓会」での講演要旨

「問われる外交力」

洞爺湖サミットまで1年

平成19年7月7日 学習院創立百周年記念会館にて

学習院大学法学部特別客員教授

高島肇久氏（昭38政）



本のマンガが並び、フランス語に翻訳された日本のマンガが出版されているように、日本のコミック、アニメ、ゲームは世界に浸透しつつある。日本のイメージを高めていくためにマンガを使うべきだと。当初は外務省の官僚たちも半信半疑でしたが、国際漫画賞の創設として実を結び、日本の文化外交に新しい風を吹き込むことになりました。

世界ではネイション・ブランドが問われるようになりました。それぞれの国のブランド・イメージです。そこに行って住んでみたい、働いてみたい国はどこか、といえば分かりやすいでしょうか。イラク戦争以来アメリカのイメージは著しく低下しています。日本のイメージは中国や韓国では低いのですが、欧米ではかなり高く、日本は信頼できる国かという問いに有識者の8割から9割が、信頼できると、どちらかという信頼できると答えています。

問題はどうかやってブランド・イメージを外交に役立てていくかです。皆さんの記憶にも新しい、国連の安全保障理事会の常任理事国入りに向けて、日本はさまざまな外交努力をしました。でも、うまくいかなかった。日本が常任理事国入りを言い出せば支援すると言っていた国が、現実にこの話がテーブルに乗ると態度があやしくなってくる。日本に対する信頼はとても高いけれど、それが日本外交や

TALKING CAFÉ

高島 久 (たかしま・はつひさ)

昭和38年学習院大学政経学部政治学科卒業後、日本放送協会（NHK）に入局。同報道局長、同海外企画局長、放送総局特別主幹、国際連合広報センター所長、外務省大臣官房外務報道官などを歴任。平成18年4月から学習院大学法学部特別客員教授に就任。



国際的な地位の向上にはつながらないのです。

外交力はODAを倍に増やしてもダメです。問われるのは日本の発信力です。東京にいる外国のプレスが減って北京が増えている。北京のほうがニュースがある、魅力的だというわけです。中国に関する記事が増えれば、ますますメディアの関心がそちらに向いていく。そうした大きな流れができていきます。

日本の等身大の姿をどう伝えるか。論を立てて、英語で発信していく論者があまりにも少ない。北朝鮮の核実験やミサイルの連続発射があっても、インターネット・ヘラルド・トリビュン紙のオピニオン欄に、日本人の書いた記事が出たことはありません。学者にしても論文のほとんどは日本語の印刷物として出されます。英語でインターネットに載せるといふことが極めて少ない。その結果、

世界の有識者の目に触れる頃には時機を失したも
のになっていきます。

アメリカでは、政府が
新しい方針や政策を出す
とき、ファクト・シート

という補足資料を豊富に出します。記者発表の後、間髪いれずに出てきます。背景説明があり、基礎的な数値が資料として示されますから、記者は深みのある記事が書けます。日本では記者が自分で調べなければなりません。締切に追われる記者にとっては無理な話です。日本の主張を世界にもっともっと伝えないと、国際社会の中で日本は存在感を失います。そのために

は工夫が必要です。

私は英語によるテレビの国際放送をはじめたいと考えています。BBCやCNNは世界中で見られますが、これだけいいの。他の国は自分たちの考え方の見方をテレビで伝えようとして始めています。日本でも放送法の改正が成立すれば、まもなく実現するでしょう。ただ、お客さんがつくつかないかは、ひとえに内容にかかっています。日本人による日本風の放送ではお客さんはつきません。カタールのアルジャジーラは、アラブ系のメディアですが、英語放送にはユダヤ系のレポーターを採用し、他にもヘッド・ハンティングして優秀な人材を集めています。

今まで述べてきたような事柄を積み重ねることで、その国の存在感が高まっていくのです。いま、国際政治の中に真空状態ができてしまっています。そこにつけ入ろうとしている国があります。自由、民主主義、人権、法の支配、市場経済という共通の価値観を持つ国が手を握り、提携していかなくてはなりません。

日本は世界での信頼感を高めると同時に自分たちの考え方やものの見方を発信する努力が必要です。洞爺湖には世界のプレスがやってきます。今日からまる1年、綿密な作戦を立て、日本の国際的な地位を確固たるものしていく努力が求められています。

※本文中の肩書きなどは講演当日のものです。

文学部史学科の福井憲彦教授が永田良昭氏に代わり、
平成19年11月11日付で学習院大学の第11代学長に就任した。

現場感覚を失いたくないという考えから、
来年度からも1コマは授業をもちたいという意欲的な新学長に
ご自身のこと、さらにこれからの学習院大学についてお聞きした。



福井憲彦 (ふくい・のりひこ)

昭和21年11月26日生まれ。昭和40年東京都立戸山高等学校卒業。昭和45年東京大学文学部西洋史学科卒業。昭和49~51年フランス政府給費留学生としてパリ第一大学に留学。昭和52年東京大学大学院人文科学研究科(西洋史学)博士課程中退。東京大学文学部助手、東京経済大学経済学部助教授を経て、昭和63年より学習院大学文学部史学科教授。研究テーマ・分野はフランスを中心とした西洋近現代史。

【近年の主要講義・演習】

西洋史特殊講義：フランス近代家族史、「時間の文化史」再考、ヨーロッパ都市史考察、西洋史演習：西洋近代史の諸問題。基礎演習：歴史の学び方。

【近刊著書・編著】

『歴史学の最前線』（共著）東京大学出版会 2004／『近代ヨーロッパ史』放送大学教育振興会 2005／『ヨーロッパ近代の社会史—工業化と国民形成』岩波書店 2006／『フランス1 ロワール流域から北へ』（共著）山川出版社 2005／『歴史学入門』岩波書店 2006／『アソシアシオンで読み解くフランス史』（編著）山川出版社 2006

平成19年11月11日 学習院大学学長に就任

緊急
インタビュー

福井憲彦学長

戦後生まれの学長のもとで新たなスタート!

現代社会のことをつかむのに 歴史的な由来だとか 問題の所在をはっきりさせたい、 そういう意識が強かった。

——都立戸山高校から東京大学に進まれたわけですが、学生時代はどんな学生でしたか？

昔風の勉強はしていました。大学に入ってから、フランス文学、あるいはフランス思想という方向に行くか、それとも歴史学も好きでしたのでどちらかと。ただ、歴史学と決めていたわけではなかったの、日本史にもずいぶんはまりましたし、そういう意味では1年生のときからこっぴどいというふうに決めていたわけではないんです。ただ、おそらく、勤めをしてしまうと私はモーレッツサラリーマンになってしまいそうな、そういうイヤな予感がしていましたので、学問研究は好きでしたから、できれば学問研究の方で生きていきたいとは思っていました。

勉強以外ではスポーツもわりとやっています、若い頃は外で飛びはねていることが多かったという感じですね。大学ではクラブには入っていませんでしたが、中学、高校ではバスケット部に入っていました、大学時代は高校にボランテニアのコーチで教えに行ったりしていました。

結局歴史学を専攻することになりましたが、昔のことが好きだったということではどうもないですね。現代社会のことをつかむのに、歴史的な由来だとか、問題の所在をはっきりさせたいとか、そういう意識が高校、大学のはじめぐらいの頃から強かったんだと思います。フランスの現代文学とか現代思想とか、あるいは歴史観といったものへの関心が根にあったのかもしれない

いとは思いますが、今から振りかえってみれば。

——若い頃読んだ本で記憶に残っているものはありますか？

高校時代にサルトルの翻訳シリーズが人文書院から出ていまして、思想はむずかしくて読めませんでしたけれど、戯曲はおもしろくて、人間心理の機微とか、人間と社会との関わりとか政治状況とかが書かれていますので、ちょうど時代を反映していたということもあって、ものすごく魅かれていました。大学に入ってから、三島由紀夫の全集がその頃新潮社から出ていまして、三島の小説は好きでよく読みました。学習院大学に来たときに、東別館が『豊稜の海』の中で、舞台として使われていたことを思い出して、これは何かの縁かなあと思ったりしました。ですから、文学系とか戯曲系とか、三島も戯曲をずいぶん書いていますけれど、読んで楽しむというのはそういう本でしたね。学問としての歴史の本はまた別の話ですけど。

——東京大学の大学院からパリ大学に留学するわけですね。

フランス政府の給費留学生として行きました。お金はないし出ないんですね。それで家からも若干の仕送りをもらいましたけれど、そんなに遊ぶ時間もない。とにかく歴史が好きで行きましたから、文書館の史料を読みたい、直に史料に接したいという思いがありましたので、ほとんど大学のゼミには出ていないんです。ドクターだったということもあつたんですが、今考えればもっと授業に出ていればディスカッション

ヨン能力が高まったということもありますし、ちょっと惜しいことをしたという反省はあるんですけども、主に文書館や図書館に所蔵されている日本では当時なかなか見ることができなかったものを読んでいいたということです。フランス人の知りあいのデザイナーには、何でおまえはそんなほこりにまみれたものをひっくり返すのがおもしろいんだ、などといわれましたけれど、ほとんどそんな生活でした。

フランスにいたのは2年2カ月ぐらいですけれど、当時は旅行事情もそんなに良くないですから、その間全く日本に帰らなかった。当時はまだファックスもないし電話だけです。着いたら郵便ストがありました、電話もなかなか通じないんで、2カ月ぐらい音信不通になりました、家ではずいぶん心配したらしいです。着いてすぐハガキを出したんですけど、ストでそれが届かなかったんです。

そんなこともあって、ほとんど日本から切れて生活していました。よくいわれるように、外へ出て日本をもう一度見直して、生活ベースであるとか、ものをどこまでも突っ込んで考えるときか、反省もしました。学者でない普通の人が論理的に自分たちの話の筋を通してくる。そういう人たちが普通に存在する。言語能力の高い人がすごくいるということです。行ったのが30歳直前ですから若くはなかったんですが、いろんな体験がプラスに作用したと思います。

当時は通貨が変動相場制になって動きはじめた頃で、行くときはまだ固定相場制のレートを引きずっていて、購入外貨の価格

インタビュー／福井憲彦学長

をパスポートにメモされたり、1ドルが360円でフランは72円の固定相場価格だったんです。行っている間に変動相場制が本格化して、みるみる円が上がっていきました。なるほど世界経済の仕組みはこういうものかということが、よく見えましたし、逆に日本の経済も世界経済の中でかなりの位置を占めていることが、外に行ってはじめて実感できました。同時に、その頃の日本は、高度成長で物が豊かになっていったわけですが、一方でオイルショックでトイレットペーパーの買占め問題なども起こっていましたし、向こうにいて情報量も少なかつたんですけれど、日本は地に足がついていない状況がはじまっているのかもしれないという思いもありました。物が豊かになったときに、心の方はどう伴っているのか。現在そういう問題がものすごく大きくなっています。大学を含めて教育のあり方がこれから問われると思うんですけれど、そういう状況がはじまりつつあったのかなと、今から振り返るとですね。そういうようなことの断片は、当時日本を外から見て感じていたのかと思います。

——学習院大学に來られての印象はどんなものでしたか？

学習院大学に來たのは昭和62年で、1年間は非常勤講師でした。翌年から金澤誠先生の後任で専任になりました。学習院大学はゆつたりした雰囲気があつて、ゆつたり勉強できるなど。学生たちのびのびしているという印象で、これは、今でも変わりがありません。学部・学科によっても違うんですけど、史学科では教員全員が集まる

科会というものを毎週やっています。そこでベテランの先生も若い教員も、学科の運営や学問研究のことも含めていろんな話ができる。これは今も続いています。すこくいいなと思いました。多かれ少なかれほかの学科でもこういうことは行われていると思いますけれど、教員間の関係というのは、これはほかの大学にはないくらい、感心するようないい関係で、これからもこれは壊してはいけないと思います。

ただ、学生たちはもつと自分に自信をもって挑戦すればいいのになと思うことはずいぶんありました。こちらでけしかけられるですけど、例えば外国語に弱いとか、苦手だとか思い込んでる学生が多い。そんなことはないんで、自分で経験を積んでいけばさまざまな可能性が拓けてくるんだということをつかんでほしい。そういう意味でももう少しチャレンジ、挑戦をしてくれればいいのにと。学長としては、なるべくそういう場を設定してあげられるような、そういう状況を作り出したいと思っています。

——大学教育の問題点と今後の学習院大学としての対応は？

教育力が本格的に問われる時代が来ていると思います。大学教育というのは、大学だけが勝手なことを考えていてもだめで、当然、中等教育、高校までの教育と関係しているわけです。学習院大学に入ってくる学生は、基本的にはかなりまじめな姿勢をもっている。ひどい大学では、授業中でも前を向けないような、勉強する姿勢もできていない学生ばかりの、そんな大学も実は

出てきているんですね。これはかなり深刻な問題で、10年ほど前、教務部長を4年間やっていたときに、大学同士で情報をすりあわせるような集まりがあつて、そういう困った事態が起こっている大学があるという実情を聞いて、これは学習院もこういう状態に陥ったら最悪で、そうならないように考えてきたわけです。

今の状況でいうと、いわゆる学力低下という問題より、勉強に対する関わり方とか、ものの調べ方、まとめ方、発表の仕方、あるいは議論の仕方という基本的な、これは一生を生きていく上でも身につけなければいけないものだと思うんですけど、そういう基礎が高校までにほとんどできていない若者が少なくない。例えば、何かを調べるときでも、パソコンの画面をクリックすれば情報がすぐ出てくる。そこで満足してしまう。極端にいうと大学のレポートでも質の悪いのはパソコンのデータをつなぎあわせている。自分で問題を見出して、それについていろいろなデータを探し出し、突きあわせて考えるという訓練ができていないんですね。ですから、それをきちんと大学の中で身につけさせていく。それと同時に学部・学科の専門的な基礎知識、考え方を育てることが、これからのものすごく問われると思います。

多くの大学で1年生に対する教育の強化を意識的に始めています。相当そこに力を入れて成果を上げていく大学があるんですね。学習院大学でもそういったことを今まで以上に意識化して、時代にあわせてやっていく必要があります。しかし、教育の



学問的基盤をふまえた上で、社会的要請にも合致するものを、新しい動きとして作ろうと思っています。

質自体を低く設定するということではない。プロセスをきちっと作ってあげて、身につけさせるということが求められているのだということ。これが大前提です。

国際化ということもいわれていますが、学習院大学の先生方はそれぞれ個人的に広いネットワークをもっていたり、国際的に活躍している方も多いのですけれど、それが大学としてのムーブメントになっていない。これをうまく束ねて大学として展開していきたい。これは波多野院長もくり返していらっしゃいますけれど、学生時代とにかく海外体験をする機会を作らせた。留学という形や女子大でやっている国際ボランティアのようなことですけれど、たとえ1週間ぐらいの経験でも、しないとたのびでは全然違うと思うんですね。留学は資金がかかりますから、学校法人側と話し合いながら体制作りを進めなければなりません。今までも国際化ということ掲げて動きを作ってきたんですけど、まだまだ不十分なところがあると思っています。

もうひとつは、研究部門、大学院生レベルでの教育ということですが、今、文部科学省でも、一方で学生に対する教育の強化がありますが、他方で研究の高度化を追求しています。国際競争力のある若手研究者を養成するという非常に力を入れています。そのための競争的資金という形で、今まで以上に大きなファンドを用意して、大学間で競争をさせるということをやっているんですけど、そういうものにきちんと対応できるような大学内での組織作りも課題です。組織的な基盤がないと、教員個人で

対応しようと思ってもこれはできないですね。事務体制もそうですし、教員間の協働体制も日頃からうまく組んでいないと、競争的資金の募集があっても対応できません。日常的な前提が必要です。ほかの大学ではかなり進んでいるところもあるのですが、残念ながら学習院大学では非常に遅れている。実質的な研究の高度化と若手研究者の育成を併行してやっていかなければまずいだろうということ。ただ、そればかりに主力を注いで学部・学科の方がおろそかになるというのでは本末転倒なんです。基本はあくまで学部だと思っています。学部教育という基盤がしっかりあって、その中から先端的研究が出てくる。あるいは先端的研究をやっている先生が学部教育もしっかり導入からめんどうをみる。そういうことが大学としての魅力です。よね。現在もそういう魅力はあるんですけど、それをきちんと設計してシステムとして見えるようにしていく、そうした工夫が必要だと思っています。

カリキュラムの変更についての考え方を教えてください。

ここ10年ぐらい、国立大学でも多くの私立大学でも、学部を変えたり、学科編成を変えたりしていますが、基本的なスタンスとして、きっちりとした学問的基盤をふまえた教育というものが重要だと思えます。今は社会の変動が非常に激しいですから、それに対してスピードをもって対応する教育のシステム作りや機構の整理はもちろん必要です。ただ、学部の学生に対する教育は、学問的な基盤をしっかりとおさえた教育

でないと、何をやっているんだか分からなくなるおそれもある。ほかの大学のいくつかは、現になりつつあります。これは日本の教育体制そのものを崩すことになると思っています。

ですから、現状に対応して、外から見えるように変えていくことも必要だと思っていますが、そのバックには学問研究のベースがなければなりません。学習院大学では学問的基盤をしっかりふまえた上で、社会的要請にも合致するというものを、新しい動きとして作ろうと思っています。今も現にいくつか可能性を追求する動きがありますが、そういったものを積極的に、なるべくスピードをもって、できるかできないかの判断もズルズル先のばしにしないで、適確に決めていきたいと思っています。

社会が変化しているからといって、それに即対応するような形で学科とかを作ってもだめで、例えば、学問体系ができていなければまた10年後に変えなければならなくなる。そこらへんは時間のスパンをとらえて基盤のしっかりしたものでやっていくということ、これを崩してはいけない、しかし変えるべきは迅速に変える、というのが私の考えです。

学習院大学の将来は明るいものになるでしょうか？

明るくしたいですね。学部の先生の中には元氣プロジェクトをやるようになってい人もいますし。大変結構だと思っています。さまざまな動きを変に規制するのではなく、ポジティブに何かやるという形で、どんなやつたらいと思っんです。できるだけ

キャリア形成のプログラムの中で
桜友会とは今まで以上に
協調していけるといいなと、
思っています。

け大学としてもバックアップしたり、学校法人や桜友会に応援していただいたり、そんな形で力を表に出してくれればいい。まだ潜在力はいっぱいある。今までかなり控えめにしている、表に出てこなかった分だけ、これからの可能性がいっぱいあると私は見えています。

――桜友会に対してひと言お願いします。

教員の働きもきちんとしなければならぬことですが、大学の卒業生が年々すくなく増えているわけですね。卒業生たちと、例えば個別の教員のゼミごとと同窓会をやっているというようなことはあるんですけど、それが全体の桜友会と連動するムーブメントには今のところなっていない。ですから、桜友会にもお願いしたり、大学、教員の側でも足並みをそろえてというのか、そういう形で卒業後の人たちに對しても、卒業した旧学生はもう知らないというのではなく、学習院懐かしい、ああこんな元気なんだ、と思ってもらえるようにしたい。それではじめて、ではサポートしようとか、裾野のもう少し広い動きが持続的にできるのではないかと思います。

就職活動での面接セミナーなど、いろいろな形でご支援いただいていますし、さらにキャリア形成のプログラムを大学として重視したいということも、私は重要なテーマとしていきますので、その中で桜友会にもご支援いただくことがかなり出てくるかと思いますが、そのへんでもご協力していただけるとありがたい。今まで以上に協調しながらいけるといいなと思っています。

学長就任にあたっての「アジェンダ24」 基本的考え方と方針、計画を公表

福井学長は就任日の平成19年11月11日付で、「学習院大学のすべての教職員および関係者」に向けて、A4・17ページの「アジェンダ24」と名づけた行動計画を発表した。これは「学習院長期計画」をふまえたもので、「アジェンダ24」とは、

学長任期が満了する平成24年3月末を一つの目標として命名したもの。「はじめに」では「これからの大学は、今まで以上に本當の『教育力で勝負』することが求められている。実施を決めた方針は断固とした姿勢でスピードをもって追求しなければならぬと同時に、また行動の選択を前例主義などによって硬直化させてはならない」と決意を表明している。以下、目次のみだが、今後の学習院大学の行方を概観するために紹介したい。

I 大学としての基本姿勢の確認

教育目標の再確立
情報・目標・方針の共有化
II 教育の改革

(1) 基本的な考え方
(2) 大学院の高度化・有効化、それと連動した学部教育体制の改革

- ① 法科大学院と法学部について
- ② 政治学研究科と政治学科において開始されている改革について
- ③ 経済学研究科および経営学研究科と経済学部について

④ 人文科学研究科の専攻増設と文学部を含めた諸改革

⑤ 自然科学研究科の専攻増設と理学部の学科新設について

⑥ 助教の授業担当と若手研究者のキャリアパスについて

③ 国際化の戦略的重視

④ 学部における初年度教育とキャリア教育の充実

① 新入学生への導入教育の重視と再構築

② キャリア教育の正式な位置づけと重視

⑤ 新学部と新大学院の設置推進

⑥ 施設・設備面での新築と改善

III 入試と広報の改革と研究教育開発部門の設置

(1) 入試体制の改革

(2) 広報体制の確立

(3) 研究教育開発センター(仮称)の新設

IV 大学事務機構の抜本的な改革

(1) 大学庶務部の廃止と学長室の設置

(2) 教務部入學課の廃止とアドミッシヨ

ンセンターの設置

(3) 就職部の廃止とキャリアサポートセンターの設置

(4) 教務部教務課と学生部学生課の統合による学生センターの設置

(5) 国際交流センターの強化

(6) 学生相談室を内包する保健センターの設置

(7) その他の諸課題

特集 学習院の今へ!

「変わる学習院」を歩く

平成19年は戦後私立学校として再スタートして60年!

戦後“新学習院”としてスタートして60年。学習院は今またさらに新しく生まれ変わろうとしている。長きにわたる伝統をふまえた新たな挑戦の息吹きを感じに、久しぶりに母校に足を運んでみませんか。懐かしい風景や知らなかった風景、さらには将来の学習院の姿を、どこかで発見できるかもしれない。



記録をし、記憶に残しながら次のステップへ！
目白キャンパスの今を歩いてみました。

目 白駅を下車して西門へと歩く。

駅に隣接してホテルメッツ目白ができたので、かつての駅前とは少し雰囲気が違う。西門を入ると、いきなり懐かしさにとらわれる。木立の中をカープした道がキャンパスの中心部へとつづく。体育館の脇を通りぬけると、輔仁会館、本部・大学教室棟、そして平成14年11月に竣工した目白キャンパスでは最も新しい西2号館のあるエリアに出る。昔はこのあたりに池があったことを思い出す。

左へ進むと懐かしのピラミッド校舎がある。中央教室が正式名称だが、われわれにとっては「ピラ校」だ。このピラ校は老朽化などのため取り壊しが決定されている。跡地には高層の「新教育研究棟」が作られる。取り壊しの工事は平成20年1～3月の予定で、内部見学会が1月12・13日に企画されている（16頁参照）。新校舎は平成20年夏の着工予定。また、南1号館の裏手には、平成21年3月竣工予定で「新自然科学研究棟」の建設が計画されている。ちなみに南1号館は、外観を保存したまま、内部を改造して使用しつづける。

新たなキャンパスの姿を思い描きながら、目白の森の奥深くへと、さらに歩みを進めた。

「わが母校」がこう変わる—— 学習院各学校の主な教育改革。

急激な少子化や社会の変動による教育に対するニーズの変化など、学校を取り巻く環境は厳しさを増している。そんな中、わが学習院大学をはじめとする各学校ではさまざまな教育改革が進められつつある。

平成19年11月18日付朝日新聞の「マンガ学」大学席巻中」という記事の中で、平成20年度から学習院大学大学院人文科学研究科に開設される身体表象文化学専攻の紹介があった。17日に実施された入試説明会を受けてのもので、同専攻でマンガ担当の教授となる予定の夏目房之介氏の「僕が大学生のとき、大学でマンガを講じるなんて考えられなかった。ましてや自分が先生になるなんて」というコメントとともに、中条省平文学部フランス語圏文化学科教授の「マンガ抜きは表象芸術を論じるのは非現実的」とのひと言も掲載されていた。同専攻の研究対象は映画、演劇、アニメ、マンガ。そのほかジェンダー論など身体に関わるさまざまな研究を有機的に組み合わせ、その文化的意味を体系的にとらえようというもの。日本でははじめての新しい取り組みとして注目されている。

また、史料管理学の先行プロジェクトを基盤として、平成20年度から新たに開設される同研究科のアーカイブズ学専攻も、日本初とっていいもので、社会の要請に基づいた画期的な取り組みとして期待が大きい。人文科学研究科では、このほか美術史専攻が平成20年度からスタートする。また、理学部の自然科学研究科では生命科学専攻も開設される予定。

ここではさまざまな動きがある学部・学科・大学院、さらには各学校の主な情報を、学校法人学習院・教育改革推進基金本部が配布しているパンフレット「最近における学習院各学校の主な教育改革」をもとに再構成してご紹介する。

学習院大学

総合キャンパス・ プランニングの策定

高度化・多様化する教育研究をハード面から支えるために、理学部に新設予定の新専攻・新学科等に対応する新自然科学研究棟、老朽化した教室棟に替わり法科大学院や外国語教育センターも入る新教育研究棟、大学院生対応施設等を含んだ新大学院棟、さらなる大学図書館の充実、その他体育関連施設等の総合的なキャンパス・プランニングについて検討を重ねてきましたが、新自然科学研究棟、新教育研究棟はすでにほぼ全容がまとまり、設計段階に入っています。

ドイツ語圏文化学科・ フランス語圏文化学科への改組

ドイツ文学科、フランス文学科が平成19年4月より、ドイツ語圏文化学科、フランス語圏文化学科として再スタートしました。高度の語学運用能力を養成するとともに文化学、文化現象全般を視野に入れた充実した教育体制が整うこととなります。

英語英米文化学科への改組

平成20年度から英米文化学科が英語英米文化学科に名称変更することになりました。専門性の高い英語運用能力を習得する授業を大幅に増やし、学生の多様な関心に対応すべく、3年次からの専門科目をコース制に改めるなどのカリキュラム改定を行います。

法科大学院の開設

学習院大学法科大学院は、法学部における長年の教育・研究の伝統を継承しつつ平成16年に開校しました。学生数の割に教員数が多いこと、実務家教員や法学理論の最前線で活躍している優秀な教授陣を揃えたこと、法学の個々のジャンルを超えた「法学的」発想を重視し複数の法領域を早くから意識してもらおう教育の3つを特徴としております。最新の「模擬法廷教室」も設置され充実した法曹教育も行っております。

法学部政治学科での カリキュラム改革

政治学科では、3年間の学部教育と2年間の政治学研究科での大学院教育を一貫して行う少人数制の「特別選抜コース（FTコース）」を導入しています。1年生の終わりに実施される選抜試験の合格者のみが対象となり、徹底した少人数教育とテュートリアルシステムにより、高度で実践的な英語力や即戦力としての政策実務能力を養い、国際社会で活躍できる人材の育成を目指しております。またこの制度により通常6年かかるところ、5年間で修士号を取得することが可能となりました。

政治学研究科での カリキュラム改革

前項の学部教育体制の改革に対応させて、平成16年度から、社会における様々な問題の調査・分析・実施手順の設計といった総合的能力を涵養し、政治・NGO・NP

キャンパス・ウォーク/「変わる学習院」を歩く

長年にわたって慣れ親しんだピラ校。取り壊されたあとには高層の新教育研究棟が建つ。どんな風景になるのか楽しみだ



南1号館は内部を改造した上で引きつづき使用される。このうしろのスペースに新自然科学研究棟が建つ予定



0・市民運動、情報メディア、国際機関等の分野で実践的に活躍し指導性を発揮しうるような人材を育成すべく、政策実務科目やインターンシップ等を特色とする前期課程のカリキュラムの再編を行いました。

経済学部経済学科・経営学科でのカリキュラム改革

経済学科や経営学科でも3年間で卒業できる新制度が発足しています。成績優秀な学生が大学院等、一層高度な専門教育へ進学することを可能とする特別な措置です。

生命科学専攻の設置と理学部新学科の開設準備

本学の理学部・生命分子科学研究所では、蛋白質を主な研究対象として用い、人間が光、匂い、味等の刺激を受け取る際に細胞センサーとして働く「G蛋白質共同受容体」の立体構造を明らかにすることや、天然にはない新しい構造や機能を持った蛋白質を設計し作成しようという試みを行っています。この最先端科学の研究や教育のための自然科学研究科生命科学専攻を平成20年度から開設。さらに生命科学科の開設に向けて準備を進めています。

人文科学研究科での新専攻の設置

平成20年度から人文科学研究科にアーカイブズ学専攻、身体表象文化学専攻、美術史専攻を開設。20年度以降に臨床心理学専攻を発足すべく、その準備を進めています。

キャンパス・ウォーク/「変わる学習院」を歩く

目白駅最寄りの西門。在
学生のほか多くの卒業生
もここを歩き来する



学習院女子大学

新校舎棟の建設

常時は教室として使用される多目的ホール(最大収容600名)をはじめ、電子ホワイトボードやAV機器等を備えたマルチメディア教室等最新の設備を整えた新校舎が2号館として平成16年に完成いたしました。

国際文化交流研究科の開設

学習院女子大学大学院は、日本文化の深い理解と国際社会への広い視野を持った文化交流と国際協力の専門家・実務家を養成する新しいスタイルの大学院として平成16年度に開設されました。将来、文化機関、国際機関、研究機関、一般企業等で企画・運営・調査等の実務に携わる人材の養成を目指し、「高度な専門知識」と「実践的訓練」を重視したユニークなカリキュラムが用意されています。

英語コミュニケーション学科の開設

世界のグローバル化が進む現代社会では、高度な英語コミュニケーション能力を持ち幅広く世界で活躍できる人材が求められています。こうしたニーズに応えるため国際文化交流学部の中に平成18年度英語コミュニケーション学科が開設されました。国際文化交流について学ぶとともに、1学年30人という少人数教育のもと、ネイティブスピーカーや実務経験豊富な教員の指導により、国際性豊かで幅をもった人材の育成を目指しています。実践的な英語力を育成するため、半年間の留学を必修としているのもユニークなところです。

中等科・高等科

高等科での新科目「情報」「総合的学習の時間」の積極的取り組み
平成15年度より新学習指導要領が施行さ

れたのを契機に、「情報」「総合的学習の時間」を重視し他校に見られない充実した内容に取り組んでいます。「情報」では1年次必修とし、情報活用の実践力、情報に対する学問的理解力、自ら情報社会に参画する力の3点を養うことに力を置いています。全員にアカウントとメールアドレスを与え、実習を通じて倫理的な認識も養っています。「総合的学習の時間」は、2年次の必修科目とし、従来の教科枠にとられない斬新な内容を展開しています。

中等科での入試制度改革

平成17年度の入学試験から複数の入試日をつけて、幅広い人材を選抜する制度に改正しました。

グラウンドの整備

平成16年7月にグラウンド全面を人工芝で整備しました。

女子中等科・高等科

女子中等科・女子高等科

教育改革と新教室棟建築計画

女子中・高等科は、平成22年に華族女学校開校125周年を迎えます。それに際して、学習院女子教育のさらなる発展を目指し教育活動全般にわたり学内外で議論を重ねてきました。現在以下のようなことを計画し、すでに実行されているものもあります。

生徒間の健全な人間関係育成のために40人学級維持、効率的教科指導促進のために

学校関連ア・ラ・カルト

卒業してからも学校が気になる。

学習院では卒業生も気軽に参加できる講座や講演会が定期的に催されている。機会を見つけてぜひ母校を訪ねてみたい。桜友会のさまざまな企画のほかにも、母校とのつながりを確認するチャンスはいろいろあるのです。

学習院生涯学習センター 冬期講座の申込み受付中

学習院9番目の学校、学習院生涯学習センター。歴史、外国語、みる・感じる・つくる、キャリアアップなどのテーマに分かれ、多くの講座が開かれています。1～3月の期間にも、冬期講座が開講されます。

「源氏物語をよむ」「ちよつとだけ歌舞伎通」「ナポリのカンツォーネを聴く」「雅楽ワークショップ（箏箏、舞楽）」「カリグラフィ入門」「英国流自然な花あしらい」「自分史を書く」「お母さんのための言葉と数の教室」「日本画入門」など全30講座。学習院生涯学習センターは誰でも受講できるのでご家族・ご友人にもご紹介下さい。

春期講座も4～7月に、約140講座を揃えて開講予定です。

《問合せ・申込み》

TEL03・5992・1040（平日10時～17時、土曜10時～12時30分）
FAX03・5992・1124（24時間）
Email/shogaigakushu@gakushuin.ac.jp
ホームページ/http://open.gakushuin.ac.jp/

参加費無料の教養講座 史料館講座のご案内

学習院大学史料館では年3回、学生・教職員・一般の方々を対象に、歴史学・史料学・美術史などの第一線で活躍する研究者を招き、最新の学術成果などをわかりやすく解説する講座を開いています。参加費は無料で、平日の18時30分から20時までの1時間半程度。

《問合せ》学習院大学史料館

TEL03・3986・0221 内線6569

「学習院教育改革」を支える 学習院サポーターズ倶楽部

現在、学習院では「学習院教育改革」事業を実施中です。これは、今号で取り上げたようなソフト・ハード両面の改革で、新校舎棟の建設資金やその他の教育研究設備への投資が必要になり、そのためには強い財政基盤の確立が前提となります。そこで桜友会員の皆さまには、これまでも増してのご協力をお願いいたします。

「学習院サポーターズ倶楽部」とは、毎年2万円以上の寄付金を5年間以上、もしくは毎年1万円以上の寄付金を10年間以上継続して拠出することを確約していただいた個人・団体・法人の方が会員となることができます。寄付金が10万円に達した方は、学内設置予定の会員銘板にお名前を刻まさせていただきます。ぜひ、学習院の教育環境整備のためのご協力をよろしくお願ひいたします。

《問合せ》

学校法人学習院 教育改革推進募金本部
TEL03・3986・0221 内線2212（平日8時40分～16時45分「昼休み11時30分～12時30分」、土曜8時40分～12時30分）

平成20年は旧制中等科・高等科が 目白に移転して100周年

明治41年（1908）に旧制中等科・高等科が四谷から、現在の目白に移転してきて、来年、平成20年（2008）で100年目を迎えます。当時も、明治27年の地震被害などにより、厳しい財政的な課題を抱えながらの新たな出発でした。100年目の来年も、学習院は大学院の新専攻発足をはじめ、各学校とも教育改革をより一層推進する新たなスタートです。変わりゆく新しい学習院に期待しましょう。

主要教科分割授業推進、実技教科にティーチング・アシスタント導入、きめ細やかな学級経営実現のために中等科で1学年5クラス6人主管制採用、女子部教育を希望する多様な人材選抜のために複数入試日設定、学校・父母会・常磐会（卒業生）の協調体制の構築、そして、その教育活動実効化に必要な教育設備を備えた新教室棟建築、常磐会関連施設の移設等々です。

初等科

1クラス44人から33人への移行

平成18年度から19年度にかけて、学年定員を同一のまま、1学年3学級を4学級にし、1クラス33人にした少人数教育を実現しました。それに伴い教員が大幅に増員となりました。また、4年生以上の児童には英語の授業を1クラス2分割にした授業を行っています。

新教室棟の建設

クラス増の学年編成等に対応する新教室棟が平成17年11月に竣工し、翌年4月から使用を開始しています。またコンピュータ図書管理システムを導入する等の体制整備が行われました。平成18年8月には、人工芝によるグラウンドも整備されました。

幼稚園

平成11年に新園舎が完成し、安全で恵まれた環境の中で自立性や社会性の基本を豊かに形成すべく、幼稚園とご父母とが連携した教育を行っています。

大学中央教室見学会

平成20年1月12日(土)・13日(日)

懐かしの「ピラ校」にさようならを!

大学中央教室位置に平成20年夏着工予定で大学中央教育研究棟(仮称)建設計画を予定しております。

この建築計画に先立ち、中央教室の取り壊しを平成20年1月～3月の予定で計画を進めています。

中央教室の取り壊しの前に、同建物の内部をご覧いただける見学会を

下記の日程で行うこととしましたので、ここにご案内申し上げます。

①日 時 平成20年1月12日(土) 12時30分～15時30分

1月13日(日) 9時30分～15時30分

②対象者 学習院関係者(役員、教職員、父母、卒業生、在校生、退職者等)、一般の方々

③参加手続 事前申込みはいりません。当日、同教室前に記帳所を設けて、ご参加の受付をさせていただきます。本院関係者以外の方は、入構の際、守衛所にご見学の旨、お声をおかけ下さいますようお願い申し上げます。



ピラミッド校舎

昭和34年度から36年度にかけて実施された「学習院第二次整備事業計画」の一貫として、昭和35年に竣工した。しかし、財政的には非常に厳しく「学習院創立85周年 私学15周年記念建設事業」としてあらたな募金をお願いすることでようやく完成することができた。前川国男建築設計事務所の総合計画により建設された中央教室は、研究・教育活動の中心地「学問のコア」という意味を持たされていた。そのためこの教室の完成と共に、学内の校舎の呼称も全て中央教室を中心とした東西南北に統一された。ピラミッド校舎は本来、学生から募集して愛称として決定していたのは「ピラミッド教室」だったが、いつのころからか、ピラ校と呼ばれるようになった。

問合せ先

学習院施設部 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
TEL03・3986・0221 内線2726

桜友会通信

2007.12.1

会員の皆様相互のコミュニケーションの場です。 STAFF ROOM

『桜友会報』編集室より

平成20年1月8日(火)

新年会の前に臨時総会開催

(同封のがきで出欠をお知らせ下さい) 12月21日(金)必着

桜友会臨時総会のご案内

臨時総会を次のとおり開催いたします。また、これに引き続いて恒例の桜友会新年会を開催いたします。多くの会員の皆さまの出席をお願い申し上げます。

日時/平成20年1月8日(火)、午後5時より。場所/霞会館(〒03・3581・9151)。議題/(1)会則の改正について、(2)その他の件。臨時総会終了後、午後6時より新年会となります。新年会会費5000円(当日会場にて)。

平成19年11月11日付で福井憲彦教授が学習院大学学長に就任されました。本号では就任直後の新学長のインタビュー記事を掲載することができました。新学長には多くの課題を抱えた大学のよりよい舵取りを期待したいと思います。また、永田良昭前学長には心からお疲れさまと申し上げさせていただきます。

さて、11万人を超える桜友会員の皆さまのお世話をしているのが桜友会事務局です。「桜友会報」の発行や名簿の管理やさまざまなお知らせ・ご案内業務を日常的にしております。住所・勤務先などが変わった場合はお知らせ下さい。また、全国支部・輔仁会サークル、職域桜友会、クラス会などの会合予定やレポートなども事務局にお知らせ下さい。そのほか、新規の桜友会設立やご相談ごとがありましたら、お気軽にお問合せ下さい。直接お訪ねいただける場合は、目白キャンパス正門近くの学習院創立百周年記念会館の2階です。スタッフ一同お待ちしております。どうぞ桜友会事務局をご活用下さい。また、桜友会ホームページのご利用もお願いします。

情報発信広告委員会委員

委員長/黒川光隆(昭43政)
副委員長/吉江隆信(昭50仏)
田邊純子(昭29短国)
堤 眺美(昭36短家)
児玉茂幸(昭39経)
杉 肇子(昭39哲)
鈴木昌明(昭41法)
前田靖治(昭42経)
朝来野静子(昭42英)
久瀬朝宏(昭42物)
中村清昭(昭43法)
石寺俊典(昭43経)
鈴木寛子(昭46短英)
村井長和(昭47経)
村松康行(昭47七)
佐野義規(昭47数)
長谷川かづ子(昭47短英)
善利秀臣(昭48経)
甲斐せつ子(昭49短文)
栗野彰子(昭50経)
鈴木紀久子(昭51仏)
五十嵐匡一(平10史)

平成20年度

桜友会役員候補者推薦のお願い

役員候補者推薦委員会委員長 川瀬量平(昭34経)

桜友会は現在11万6000人を超える会員が活動する団体となりましたが、この会員の活動の中核を担っていた桜友会理事、監事および評議員からなる役員については、桜友会正会員の推薦を選任要件としていただくことはご高承のとおりです。

私も役員候補者推薦委員会は、会則の定めるところにより桜友会正会員によって推薦された役員候補者各位を役員定数の一定数を改選する枠組みのなかで選考のうえ、第2次推薦のかたちで桜友会の決議機関である総会、評議員会に上程する役目を担っています。つきましては、今回も平成20年度の役員改選にむけて会員皆様に役員候補者として新しき人材の推薦をお願いいたします。

活動の基本方針

- 1 学習院への支援強化
- 2 会員向け活動の充実
- 3 組織の強化

右記に則り、積極的に活動されるご意思をお持ちであることを確認していただくことを推薦の条件とさせていただきます。

何卒各位には条件に適う有意な人材の推薦をもって桜友会の発展にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《締切日》平成20年1月31日(木)

《推薦役員》評議員(正会員の中からご推薦下さい)、理事(評議員の中からご推薦下さい)、監事(正会員のなかからご推薦下さい)。*評議員名は桜友会ホームページ(桜友会組織)に掲載してあります。
<http://oukaieitc.gakushuin.ac.jp/>

《用紙》指定の用紙をご利用下さい。

《その他》推薦人1名につき、各役

職1名の推薦とさせていただきます。

被推薦人を複数名で推薦される事は

ご遠慮下さい。

問合せ・送付先/桜友会事務局

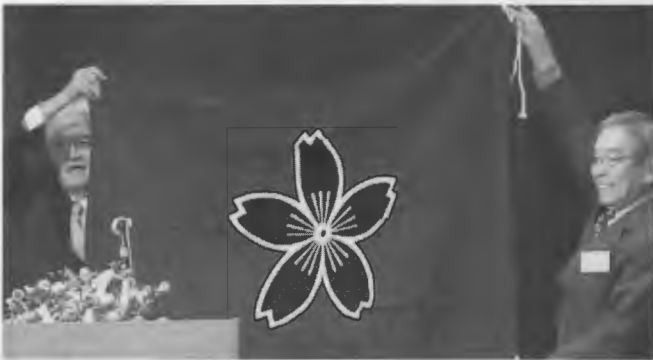
また新たな桜友会が誕生！ 世界にも広がる同窓の和

調布・狛江桜友会 東京7番目の桜友会

平成19年6月30日、調布市文
化会館「たづくり」12階大会議



約70名の桜友会員が集まった



内藤桜友会長から桜友会旗を授与される岡田調布・狛江桜友会長

室において、調布・狛江桜友会の設立総会・懇親会が開催されました。当日は内藤桜友会長をはじめ、多くの来賓や桜友会員、約70名の方々に出席いただきました。

総会では満場一致で「調布・

狛江桜友会」の設立を確認し、続いて内藤会長から承認書と桜友会旗の授与が行われました。第2部の懇親会では抽選会なども行われ、同じ地域に住む者、あるいは勤める者同士、親睦を深めました。

調布・狛江桜友会はこの地域に在住、または勤務する学習院出身者の会です。新しい会員も大歓迎なので、転入や転勤などで当地に來た方はぜひお声掛け下さい。

また会には東京の各桜友会から、新宿桜友会世話人の笹山健氏（昭50経）、府中桜友会副会長の千住貞夫氏（昭31経）、八王子桜友会会長の善利秀臣氏（昭48経）、東京城北桜友会会長の

の前田靖久氏（昭33政）が出席し、新しい桜友会の門出を祝いました。

〈会長〉岡田登（昭30文）、〈世話人〉渡辺格（昭48法）、長友眞理子（昭51政）、〈会計〉土屋邦子（昭36短家）、近藤三枝（昭46短人）、〈渉外担当幹事〉松尾薫（昭53政）、〈会計監査〉高橋勝彦（昭41経）

桜友会全国・海外支部連絡先 (平成19年6月現在)

支部名	世話役氏名	電話番号
ハワイ	鎌田 優 (昭61営)	1-808-921-3536
カナダ	稲垣 長映 (昭24高)	1-604-986-5509
サンフランシスコ	(会) Morgan Y. 昭子 (昭35短英)	1-510-549-9490
ロサンゼルス	ヒグチ雅子 (昭59済)	1-323-467-5066
シカゴ	高橋 由美 (平9英)	1-269-387-3020
ニューヨーク	井ヶ田 巖 (平5営)	1-718-575-0078
ワシントン	(会) CLOSE美佐子 (勝山) (昭36英)	1-301-262-3946
ロンドン	Bolton美幸 (昭56済)	44-207-352-2464
パリ	岡部 昌史 (昭51仏)	33-1-4530-1464
オランダ	横屋 正幸 (昭56独)	31-20-456-0447
ベルックス	寺尾 實榮子 (昭30物)	32-10-45-1837
ミュンヘン	(会) Koerber H. 房子 (昭37英)	49-08151-51179
バンコック	茅田 征司 (平6史)	66-2-963-7400
シンガポール	小田 康人 (平4営)	65-338-0388
マニラ	渡邊 浩章 (平4英)	63-46-430-3800
台湾	下島 謙司 (平4営)	02-2559-6255
韓国	金 淳 (昭33政)	82-2-738-2555
豪州	(会) 宮地 謙 (昭43物)	612-8274-9311
ニュージーランド	生出 克彦 (昭62法)	64-9-480-4445
香港	世良田 紀子 (昭60営)	852-2633-0550
上海	岡田 武久 (平4営)	86-21-5308-5566
北海道	山本 雅啓子 (昭50経)	011-233-5125
青森	畑中 英 (昭50英)	017-773-4422
岩手	齋藤 健一 (昭45政)	019-653-1850
宮城	伊勢 泰昌 (昭61英)	022-213-8611
秋田	石井 博雄 (昭61営)	018-862-4674
山形	鈴木 正明 (昭58法)	023-646-7306
福島	小泉 修 (昭48法)	024-521-7786
茨城	服部 充雄 (昭42化)	029-276-1539
栃木	多々良 清 (昭47経)	028-633-1241
群馬	成田 邦夫 (昭41経)	027-352-4791
千葉	川村 郁夫 (昭49法)	048-644-2317
神奈川	越部 圓 (昭57心)	043-265-6115
	勝 治雄 (昭54営)	045-651-0161

支部名	世話役氏名	電話番号
新潟	藤田 史彦 (昭62史)	025-244-6699
富山	朴沢 真理 (昭44短国)	076-492-4833
石川	宮川 知生 (平5営)	076-264-0161
福井	内藤 俊三 (昭46数)	0776-53-5061
山梨	常盤 幸久 (昭58化)	055-282-0272
長野	木村 春夫 (昭46経)	026-226-8181
静岡	桑原 靖一 (昭56営)	053-472-9455
東海	青井 良一 (昭45経)	052-621-0222
関西	益田 英之 (昭38化)	072-694-5990
山陰	吉田 千智 (昭39政)	0859-22-9214
岡山	有松 宏 (昭42政)	086-296-7272
広島	小田 賢太郎 (昭45経)	082-222-6691
山口	波多野 知三 (昭40物)	0836-31-5533
四国	板東 宏明 (昭41経)	088-632-6132
香川	藤村 和宏 (昭59済)	087-843-2792
徳島	黒田 浩司 (昭58済)	088-624-4774
高知	石川 征 (昭41国)	088-832-4216
愛媛	高須 俊人 (昭55数)	089-951-0178
福岡	山下 哲郎 (昭57独)	092-512-9254
北九州	中居 博己 (昭47経)	093-571-5601
岩手	岩永 充 (昭54済)	0954-65-2172
長崎	渡邊 宣義 (平10営)	095-820-3204
熊本	前田 浩文 (昭40政)	096-366-8287
大分	大谷 豊久 (昭56済)	097-543-2114
宮崎	阿部 信一 (昭56法)	0986-58-2345
鹿児島	富田 亮一 (昭42経)	099-246-3110
沖縄	安慶田 久 (昭51政)	098-868-5059
東京中央	渡邊 琢仁 (昭38経)	03-3414-6882
江東	笹本 英之 (昭58済)	03-3643-0809
新宿	笹山 健洋 (昭50経)	03-5325-2627
八王子	福岡 洋 (昭39経)	042-663-8341
府中	難波 茂丸 (昭39政)	042-302-8329
東京城北	河野 文里 (昭57経)	03-3935-3369
調布・狛江	長友 眞理子 (昭51政)	042-499-5212
鎌倉	石島 道章 (昭35経)	0467-23-3799
湘南	浦田 憲一 (昭37経)	0467-83-4525

各地に桜友会の輪をつなぐお世話役がいます。

創立10周年を迎えた
江東桜友会

6月10日、東京・江東区のホテルイースト21東京、東陽の間において江東桜友会10周年記念総会が開催されました。平成9年に準備会が立ち上がったことから、多くの桜友会員の協力を得て、今年で10年を迎えました。

当日は、アトラクションとして創設メンバーの浅草慶子氏(昭39女高)のお嬢さんの浅草恭子氏による珍しい手回しオルガンの演奏、そして恒例の3分間スピーチもありました。

桜友会からも内藤会長、東園副会長をはじめ多くの方々が出席しました。

江東桜友会は総会のほかにも、ゴルフや散策の会などがあり、活発に活動が続いています。江東区に在住・在勤の方、近隣の方もぜひ、ご参加下さい。

落語も飛び出した
山梨桜友会総会

平成19年度山梨桜友会総会・懇親会が6月16日に甲府市のアーバンヴィラ古名屋ホテルで盛大に開催されました。

総会は丸茂紀彦山梨桜友会長(昭38経)の挨拶から始まり、活動報告、収支報告の後、桜友会副会長から、各地の桜友会活動や学校の近況などが報告されました。

懇親会では今回初参加で、落語研究会OBの安田勝氏の15分落語などもあり、多いに盛り上がりました。

山梨桜友会では8月と12月を除いて毎月定例会を開いています。新しいメンバーも大歓迎です。山梨県在住の方々ぜひご参加ください。
nan-akimono@creamplaza.or.jp
常盤幸久(昭58化)

イベント目白押し
東京中央桜友会

東京中央桜友会では、今年も6月30日に開催された総会、定例会の三金会のほかにも、落語鑑賞、音楽鑑賞、歩け歩け、グルメ、歴史探訪などの部会があり、それぞれに多くのイベントを行っています。

今年の総会前には、東京駅丸の内駅舎が復元工事に入る前にしっかりと今の姿を記憶に留めておこうという駅舎見学会が開かれました。年に1度の総会もイベントで楽しんでしまおうという活発な桜友会です。

まずは毎月第3金曜18時30分からの、自由参加の「三金会」へどうぞ。
問合せは東京中央桜友会事務局の渡辺琢仁(☎03・3414・6882)、富士隆平(☎03・3316・8223)へ。

毎年1回のお楽しみ
ワシントンDC桜友会

年1回、ワシントンDC周辺の桜友会員が集まるワシントンDC桜友会。今年も7月21日に、白井晶子さん(昭62高)に幹事をお願いし、メリーランド州ベ



年に1度の同窓生との語り合いのひと時

ゼスタのレストランで開催されました。会は学習院の思い出話がいっぱいで、「学習院の女性は実に素晴らしい」というポール室山さん(昭49院)の言葉に、女性軍はすっかり気を良くして、さらに話はどうどん盛り上がりました。

出席したのは白井、室山両氏のほか、リッチモンドから駆けつけた土橋さん(昭34法)夫妻、大出さん(昭50法)、中山さん(昭53政)、大野さん(昭8法)、宇野さん(平4物)、そして私クロース(昭勝山、昭36英)の9名でした。

毎年実に楽しい集まりです。ワシントンDC、メリーランド、バージニア近辺の方々のご連絡下さい。
ワシントン支部世話人
クロース美佐子
miscaclose@verizon.net

私たちの目指すものは、
正確・迅速で簡潔化
された二次情報です

- 当社は長年にわたる経験と豊富な実績に基づき、科学技術文献の加工・処理、即ち主として抄録作成、索引作成などを行い、情報検索のためのデータベース作りを行っております。
- 当社が対象とする科学技術の分野は広範囲にわたりますが、それぞれの分野に専門技術員を多数置いており、特許などの文献調査、翻訳なども併せてお引き受けしております。

どうぞお気軽にお声をかけて下さい

NTI

新技術情報株式会社

NEW TECHNOLOGICAL INFORMATION INC.

〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-10
西新橋アネックスビル4F
TEL 03-5157-0410 FAX 03-3502-9955
http://www.shingijutsu.com/
E-mail:shingijutsu@nifty.com

代表取締役社長 金川 頼行

様々な催しが行われた、 輔仁会の歴史の1ページ

甲南戦50年の歴史を 記念誌として発行

成蹊・武蔵・成城・学習院の4大学で行う四大学運動競技大会と並び、学習院大学の2大定期戦のひとつ、甲南戦の50周年を記念して『学習院大学対甲南大学運動競技総合定期戦50周年記念史』が昨年、平成18年3月に刊行されました。

甲南戦が始まった当時のからの思い出を、卒業生が寄稿という形で書き綴っており、これだけで、ひとつの歴史が出来上がっています。また、50回の全戦績

の記録や、当時の大学新聞の記事なども掲載され、参加した卒業生には、懐かしかったり、ちよつと苦い思い出がよみがえったりするのは。

最後の座談会では出席者の高橋司郎氏（昭33経）が、まとめの言葉として、校友会には甲南戦に深く関わった会員が多いるので「学習院大学としてもっと働きかけを積極的にして、校友会という組織を巻き込むことが必要だと考えています」とも。



50周年記念式典の様子

運動競技総合定期戦



定期戦の大会旗

毎年その行方が注目される優勝杯

『学習院大学対甲南大学 運動競技総合定期戦50周年記念史』

大学アーチエリー部 50周年式典

創部50周年を迎える学習院大学アーチエリー部。これを記念して「創部50周年記念式典」が開催されます。OB・OGの皆さまはぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。

〔日時〕平成19年12月15日（土）12時～14時30分

〔場所〕東京・西新宿 ハイアットリージェンシー東京（旧・センチュリーハイアット東京）

〔会費〕卒業生1万円、現役4～2年生5000円、1年生2500円

詳細は、50周年を記念して、ホームページを立ち上げましたので、<http://www.gakushuin-archery.com/>をご覧ください。

洋弓部後援会主催 小坂先生を偲ぶ会

今年4月6日に62歳で逝去された、元高等科教諭・前高等科洋弓部顧問の小坂純彰先生を偲ぶ会が、去る9月9日、高等科洋弓部後援会主催により開催されました。

会に先立ち、当日午前11時から、先生のお墓のある都内白山駅近くの大円寺に、高等科OB、元コーチらに加え、小坂先生が主管をされた学年の元父母会幹事や、学校関係者約30名が集まり、墓前に花を供えお参りしま



大円寺の小坂先生のお墓にお参りした

した。

その後、有楽町の日本外国特派員協会に会場を移し、ご遺族である先生のご長女、ご長男にもご出席いただき、40名を超える出席者とともに在りし日の先生を偲び、思い出を語り合い、先生のご冥福を改めてお祈りしました。

ドイツクラブOB会 活動状況報告

過去1年間の、ドイツクラブOB会の活動状況をご報告します。

①平成18年12月20日、ドイツクラブOBの一部有志が集まり、「音楽の部屋(Cantata)」（銀座）にてクリスマス会を開催しました。現役部員もあわせ、25名が集い、ドイツクラブ専属の衣川シェフの手料理を賞味し、また、ピアノ演奏に合わせてドイツリートを口ずさみ、12月の夕べの宴を楽しみました。



村田先生ご夫妻を囲んで記念写真

②平成19年4月15日の「オール学習院の集い」にて、西1号館106・107教室で、講演会と懇親会を開きました。講演会は、駐日ルクセンブルグ大公国名誉副領事・吉野忠彦氏に「ある小国のサクセス・ストーリールクセンブルグ大公国の場合」と題してお話いただきました。懇親会では、ドイツワインを片手に、和気藹々とした雰囲気です。吉野講師を開きました。

③7月14日、ドイツ文学科の卒業生の方々が企画した岩淵達治先生の傘寿のお祝い会に、我々OBの数名が参加しました。場所は、目白の「リュウ・ド・ヴァレンヌ」。折から台風が到来し、文字通り「傘」のお祝いとなりました。

④8月26日、「聘珍楼」（百持寺）にて村田経和先生の喜寿のお祝

三井ホームは、暮らし方から考える家づくり。

一人ひとりの思いやこだわりを、一つひとつカタチに変えて・・・。三井ホームでは、“お客様一人ひとりにもっともふさわしくカスタマイズされた住まいをご提案いたします。

「Live together」からはじめよう。家族を大切にしたい家づくり



つなぐ、つながる、ひろがる家。子供を育む家づくり



これからは大人が楽しもう。団塊世代の家づくり



AVAN-RICHE

パブリックとプライベートが両立する、2つの顔を持つ家。アバン・リッシュ誕生。



カタログプレゼント!
「アバン・リッシュ」を含む都市型住宅をご紹介したカタログをご希望の方にさしあげます。お気軽に下記までお申し込みください。

カタログ請求・お問い合わせは下記まで

0120-321-406

ホームページ www.mitsuihome.co.jp

QUALITY X DESIGN

三井ホーム

三井ホーム株式会社 首都圏営業本部
〒163-0415 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル14階

〈お客様情報の利用目的について〉
お問い合わせ・資料請求でお預かりするお客様の個人情報は、お客様の住まいづくりに関する三井ホームグループからの情報提供・販売活動に使用するもので、「個人情報の保護に関する法律」その他の法令に定める場合を除き、お客様情報をあらかじめお客様の同意を得ることなく、第三者に提供することはありません。

桜友会通信

「新緑」の集い 戯曲研究会

3年前に戯曲研究会発足50周年を記念して、当時のメンバーの集いの会を始め、去る4月21日に第4回を開催しました。新緑の美しい小石川後楽園「酒徳亭」に38名が参加。楽しいひと時を過ごしました。大半のメンバーはいわゆる現



小石川後楽園の新緑に囲まれて

役引退、気楽な日々を送っている中、学生時代からの熱気を保ち(？)表現芸術の現役として活躍中の3人から活動の報告がありました。別役実、堤春恵などの戯曲を演出する末木利文君、シャンソ

い会を開催しました。総勢44名が集合し、村田先生ご夫妻を囲みました。村田先生は、ドイツクラブ設立当初から大学を退官されるまで、部長先生としてご指導下さいました。45年前のことなど、昨日のことのように話が弾みました。
⑤12月某日、今年もクリスマス会を、開催する予定です。
佐久間稔(昭46経)

たつのおとしご会 第18回公演開催

故・吉村昭氏が18年前に呼びかけて発足した「たつのおとしご会」。毎年1回の公演を行い、今年も5月24日から26日の3日間、日本橋劇場でアガサ・クリステイー原作の「ホロー館の人びと」を上演しました。多くの方が来場し、公演は大成功でした。平均年齢69歳の劇団ですが、来年以降の活躍もますます楽しみです。

ン歌手で一年中公演に忙しい嵯峨美子さん、舞台、映画、テレビに出演している本多晋(本名・本田義勝)君です。全員確実に3つ歳を取っているが、相も変らぬ元気で二次会を含めると延々7時間近く、文字通りワイワイガヤガヤと盛況でありました。
新庄清昭(昭35政)

稜校会主催の田植え 稲刈り体験教室

稜校会(ワンダーフォーゲル部OB・OG会)の主催で、4年生以上の初等科生が5月19日と9月15日の両日、新潟県魚沼市で田植え、稲刈り体験をしました。

この体験教室は一昨年度まで、生涯学習センターが中心に行っていましたが、昨年度は休止となり、今年再び稜校会が主催となって開催されました。当日は多くの児童が参加し、本物の稲と土の感触を楽しみました。教室の実施にあたっては地元、旧湯之谷村の芋川集落の方々にも多大な協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。また魚沼市は、毎年「オール学習院の集い」でも物産展を開いているので、一度覗いてみて下さい。

バドミントン部 創部55周年記念式典

昭和27年にバドミントン部が同好会として発足して、今年で55年を迎えました。発足翌年には四大戦、さらに昭和31年からは甲南戦にも参加し、同58年には輔仁会運動部へ昇格し、現在は男子5部、女子4部リーグに在籍しています。

この55周年を記念して「創部55周年記念式典」を催すことになりました。また、「創部五十五周年記念誌」の発行も予定しています。当日は、平成19年度後期納会も合わせて行いますので、皆さまの奮ってのご参加をお待ちしております。
〔日時〕平成19年12月9日(日)13時30分～15時30分(午前に試合の部を開催予定)
《会場》目白・百周年記念会館 小講堂

新しい桜友会が続々と発足 今、職域桜友会が熱い！

就職支援に積極的 マスコミ桜友会発足

5月19日、新聞・テレビ・出版・広告代理店・映画会社などマスコミ関係の卒業生組織、「マスコミ桜友会」の設立総会が開かれました。当日は総会に先立ち、マスコミ桜友会設立記念のパネルディスカッション「今、マスコミ人に求められること」が開催され、多くの在学生や桜友会員が参加し、会場の



パネルディスカッションでは会場が満員に
懇親会で軽妙なトークを繰り広げる
読売テレビの岩田公雄氏と品田氏

西2号館501教室は超満員となりました。

その聴衆の期待にこたえて4人のパネラーは、それぞれに現場の一端で経験した表や裏の話を披露しながら、マスコミとは何か、どういうことをして自分はマスコミに就職したかなどを話しました。

パネルディスカッションの後には、会場を輪仁会館2階のさくらラウンジに移



親睦組織であるとともに、現役学生への就職支援組織でもあります。今後セミナーなどを通し、積極的に就職支援をしていく予定です。



マスコミ桜友会会長に就任した高島肇久氏

し、設立総会と懇親会を開催。会則、人事が参加者により承認され、正式に「マスコミ桜友会」が発足しました。尾関謙一郎代表、波多野学習院長の挨拶、永田大学長の挨拶の代読後、内藤桜友会長から承認書と桜友会旗が授与され、そのまま乾杯で懇親会へ。日経B.P.社の品田英雄氏（昭55政）の見事な司会ぶり、会は盛り上がり、最後はテレビ朝日の木下智佳子事務局長（昭61心）の閉会の挨拶で無事終了となりました。

永山武臣会長を偲ぶ 演劇桜友会開催

演劇桜友会の創設者にして会長、そして松竹株式会社社長の会長として歌舞伎を世界の中に鮮やかに位置づけた永山武臣氏（昭20旧高）が亡くなって約1年。平成19年11月19日18時30分より、東京會館で故人を偲ぶ第27回演劇桜友会が開催されました。会場には赤ワインのグラスとともに故人の写真が飾られ、そのにこやかな笑顔は出席者一人ひとりを見守っている、といった風情でした。

出席者も、桜友会員でもあるご長男、ご長女、元学習院長で桜友会名誉会長の島津久厚氏（昭14旧高）をはじめ、映画監督の瀬川昌治氏（昭22旧高）、青年座の演出家で数々の演劇賞を受賞している宮田慶子氏（昭55国）ら多士才々。

当日、永山武臣氏に代わる演劇桜友会会長として、日本オペレッタ協会理事長・芸術監督の寺崎裕則氏（昭31政）が選任されました。



学習院が好きだった永山会長

漢詩も披露された 新日本石油桜友会

長い間休眠状態だった新日本石油桜友会は、新幹事団により平成17年に再構築されました。以来毎年、会が開かれています。今年も、10月23日18時から、東京・有楽町の小洞天で新日本石油桜友会が開催されました。当日は内藤桜友会長、島村宜伸元農林水産大臣（昭31政）にもご出席いただき、会員は黒瀬明会長（昭29政）のほか16名が参加しました。黒瀬会長、内藤桜友会長の挨拶と続き、島村氏の乾杯で懇親が始まりました。会員の赤間氏からは「会に寄せる漢詩」が披露され、近況報告なども行われ、楽しい宴でした。

所用や地方勤務などでできなかった会員も多数いましたが、来年も開催を予定しています。さらに盛会としていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

〔披露された漢詩〕
寄新石油桜友会 赤間幸風
櫻花短咲幹油油
櫻花咲くは短くも幹は油油
少壮英姿今白頭
（少壯の英姿も今は白頭）
甌老一同猶氣盛
（老いをもてあそぶ一同猶氣は盛んなり）
重盆笑語拂千憂
（杯を重ね笑語し千憂を払わん）

OF

レストランシティ GINZA



日本料理
京華 つる家 花陽

すし
すし田 乾山

天ぷら
新宿つな八

うなぎ
麹地 宮川本屋

手打そば
明月庵 さんざ 田中屋

とんかつ
恵亭

中国名菓
銀座アスター

洋食
上野精養軒

イタリア料理&カフェ
イプリミギンザ

営業時間

各店
11:00 a.m. - 10:00 p.m.
(ラストオーダー 9:30 p.m.)

松屋銀座 = 〒104-8130 東京都中央区銀座3-6-1
電話03(3567)1211大代表 www.matsuya.com

MATSUYA GINZA

桜友会通信



参加者全員で集合写真



小幡恭士富士通グループ桜友会会長

創設45年を迎えた 富士通桜友会

富士通グループ桜友会は、昭和37年に会を創設し、今年で45周年を迎えました。平成19年度現在で、グループ会社を含め、総勢300名以上の会員を擁し

ております。毎年、総会および新人歓迎会、また春と秋には、ゴルフコンベンなど、活発にイベントを開催しています。

今年7月13日にも東京・浜松町の東京會館の離宮飯店で18時30分から、「2007年度総会、新人歓迎会」を開催しました。

新人4名を含む67名といふ多くの会員が参加し、ゲーム大会などを行い、和気藹々とした楽しい雰囲気の中、会は終了いたしました。また平成20年度も、7月に総会の開催を予定しています。

新会長が就任 第30回出版桜友会

第30回の出版桜友会例会が、6月20日18時30分より、輔仁会館2階のさくらラウンジで開催されました。この会で、会長の文入秀敏会長（昭41経）が退任し、東京堂書店の大橋信夫氏（昭43修）が新会長に就任しました。大橋氏は今回の会長就任に先立つ5月24日に、書店の業界団体の日本書店商業組合連合会の会長にも就任しており、内外での活躍が期待されます。

出版桜友会は、出版社、出版取次会社、書店の3者による職域桜友会で、毎年1回目白で例会を開いており、毎回活発な会となっております。出版社、取次会社、書店勤務で、まだ参加したことがないという皆さま、情報交換を一度来てみて下さい。

新規会員募集中！ 不動産桜友会発足

この度、不動産業、建設業、金融業など不動産に関連する業界に勤務する皆さまの親睦をはかるとともに、不動産関連の情報交換を行い、ひいては学習院の発展に寄与すべく不動産桜友会が発足しました。現在会員は20数名ですが、今後講演会の実施など各種行事を行っていき、活動の場を広げていきたいと思っております。関連業界にお勧めで興味のある方の積極的な参加をお待ちしています。

《会長》夏堀修（昭48経）、《副会長》佐藤達夫（昭45経）、中村英雄（昭47経）、関家嗣（平2経）。問合せは事務局長・杉田正治（昭48経）までお願いします。
☎03・5367・6919
E-mail: sugita@ikaruga-law-arc.com

今一番新しい桜友会 税理士目白倶楽部

「会員相互の親睦をはかり、税理士および学習院の発展振興に協力すること」を目的として「税理士 目白倶楽部」が発足しました。各税理士会に所属する税理士で、学習院出身者が会員の対象で、約130名が所属する予定。

11月6日の桜友会理事会で承認され、現在一番若い桜友会です。今後、多くの税理士の方の参加をお待ちしています。
《会長》野中孝男（昭46経）、《副会長》長谷川勤（昭44経）、山室普一（昭47経）、渡邊徹也（昭52法）、藤牧俊行（昭52政）、《名誉会長》高木貞一郎（昭31経）。問合せは野中孝男税理士事務所までお願いします。
☎03・3281・1300
E-mail: noface@cruxoicne.jp

INFORMATION

活動報告とお知らせ

桜友会では、事務局・情報・組織・親睦行事・母校支援の各部会に属する委員会です。ここでは、それら桜友会本部のレポートを中心に、学習院の最新情報などもご紹介します。

地域、職域、サークルなど 各支部桜友会をサポート

桜友会組織委員会は、桜友会のより一層の活性化、並びに組織強化のため皆さまの様々な活動をサポートしています。新設桜友会などお考えの方はぜひ桜友会事務局までご連絡下さい。また全国支部・職域支部・輔仁会OB・OG会の総会等を開催される場合や、各種変更などございまして、事務局までご連絡をお願いいたします。

組織委員会では以下の「支援チーム」を発足させ、皆さまの活動をサポートします。

○全国支部（東）

北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木・群馬・新潟・山梨・長野各県下の支部支援

○全国支部（中）

東京都下・埼玉・千葉・神奈川各県下の支部支援

○全国支部（西）

富山・石川・福井・静岡・東海・関西・山陰・岡山・広島・山口・香川・徳島・高知・愛媛・福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄各府県下の支部支援

○職域桜友会

職域桜友会の支援及び活性化

○学部会

法学部・経済学部・文学部・理学部・草上会・中高桜友会各部署の支援及び周年行事支援

○海外／新規桜友会立ち上げ

海外桜友会との連絡支援及び新規立ち上げ支援及び組織化の推進・適正化の検討

○輔仁会OB・OG会／学習院公開講演

輔仁会OB・OG会との連絡及び必要に応じた支援並びに学習院主催公開講演への支援

○組織活性化委員

桜友会の理想の組織・他校の研究・活性化の方法等基本動作の検討及び支援レベル基準の検討

※海外支部窓口として海外桜友会連絡・支援チーム事務局があります。

お手数ですが海外桜友会各支部のお世話役の方には、現状確認の意味で現在の支部の代表者氏名・世話人・窓口の電話番号・世話人のEメールアドレスを、EメールまたはFAXで桜友会事務局あてにご報告願います。

桜友会事務局

FAX81-3-3988-8858

E-mail: outkai@gakushuin.ac.jp

伝統文化に触れる会 「徳川家ゆかりの 水戸市を訪ねる」

7月21日、東京・日本橋にある三井記念美術館で「美術の遊びどころ」展「旅」展 鑑賞を実施し、70余名の方に参加していただきました。学芸課長より懇切なレクチャーを受け、国宝「一遍聖絵」から参詣図・名所絵、西行・芭蕉の旅まで「大日本五道中図屏風」を含む数多くの美術品を鑑賞、大変意義深く充実した半日でした。

さて、今回の「伝統文化に触れる会」は、平成18年秋の鎌倉散策に続き、徳川家とゆかりの深い水戸市を中心に訪ねる旅を茨城桜友会のご協力を得て行う予定です。

9代水戸藩主徳川斉昭の発意で創立された「弘道館」、日本三名園の一つで、梅園で名高い「借楽園」ほか名所の見学をいたします。皆さまお誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

《日時》平成20年2月27日(水)

《募集人員》先着50名

《問合せ》桜友会事務局

☎03・3988・3288

※集合場所・時間・訪問場所・費用など、詳細は後日お知らせいたします。昼食は季節名物料理を予定しています。

北山財政ゼミ 54年目の集い

我々北山ゼミも最も若いメンバーが団塊の世代になりました。

今年の会場はいつもの銀座のレストラン。4月14日に39人が集まりました。毎回講演を行っており、今回は「調停」がテーマです。昭和30年卒業の児玉成吉氏と同31年卒業の安田和敬氏が講師で、児玉氏は民事（主に多重債務・交通事故・近隣関係など）、安田氏は家事（主に離婚・相続など）の調停についてそれぞれ具体例をあげて解説されました。お二人の共通の提唱は、「裁判以前の話し合い解決」で、これは訴訟社会のアメリカが今や見習うべく研究しているシステムでもあります。一番心に残ったのは、調停に携わる人は、周りから信頼される人間であることが第一という部分でした。金原循一（昭34経）



相変わらず元気な北山ゼミ生です

第42回桜友会

秋季ゴルフ大会

常陸宮杯を競う、第42回桜友会ゴルフ大会が9月27日、埼玉県川越市の霞ヶ関カンツリー倶楽部で行われました。参加者は総勢165名。和気藹々とした雰囲気の中にも、真剣勝負の緊張感があり、充実した大会となりました。そしてプレー後はいつものように表彰式と懇親会でお互いの健闘を称えあいました。優勝して常陸宮杯を手にしたのは山本孝広氏、2位の院長杯は小島正氏へ授与されました。そのほかの結果は、女子優勝は丸田桂子氏、シニア優勝は鈴木大樹氏、グランドシニア優勝は総合2位の小島正氏、ベストクロスは大野了一氏、団体戦優勝はGクラブでした。

悪天候の中、ご出席された会員の方々に御礼申し上げます。

桜友会ハワイアンクラブ

総会・パーティー開催

ハワイの音楽や文化を通して会員相互の親睦を図るとともに、学習院と桜友会の発展に寄与することを目的として結成された桜友会ハワイアンクラブ。今年10月27日にも、あいにくの台風の影響で荒れ模様の中、輔仁会館2階のさくらラウンジにて、桜友会ハワイアンクラブ総会と懇親パーティーが開かれました。総会後、徳川義正会長(昭35経)の挨拶、続いて東園基政桜友会副会長の乾杯のあと、恒例のメンバーの演奏やフワで約3時間、会員相互の親睦を深めました。

第16回桜友会旅行会

神話の舞台・出雲へ

今回の桜友会旅行会は、神話の舞台・出雲と足立美術館への旅でした。11月17日と18日の両日開催され、地元の味、出雲蕎麦や、夜には現地山陰桜友会の方々との合同懇親会などを楽しましました。

学習院八重櫻の会

総会開催

学習院女子部を卒業し、10年以上仕事をしていた人たちが集まり、平成元年に設立した会が「学習院八重櫻の会」です。その総会が、今年も9月8日に開催されました。

22年目も桜の下で、

オール学習院の集い

平成20年4月13日(日)、目白キャンパスにおいて22回目のオール学習院の集いが開かれます。桜の花の下で、懐かしのキャンパス散歩などはいかがでしょう。ずいぶんキャンパスも変わりました。

第41回チャリティー

エリーパーティー開催

12月15日(土)、グランドプリンスホテル赤坂で、桜友会年

よし、こんどこそ
踏み出そう
そんなあなたを
お待ちしております。



ご成約
2440組
信婚のブライダルアシスト

お申込み資格

桜友会の皆様およびご家族とごご紹介による方々です。お電話いただければ、申込書を郵送いたします。

お申込金

申込金は63,000円(税込)で、その他には月会費等の費用は一切ありません。Master、VISAカードもご利用いただけます。

安心のシステム

プライバシーは厳守されていますので安心してお申込みいただけます。

三菱グループ設立の結婚紹介センター ダイヤモンドファミリークラブ

お気軽に資料をご請求ください

TEL(03)3405-8261

ホームページ

<http://www.diamond-familyclub.com>

〒107-0061

東京都港区北青山1-2-3 青山ビルディング11階

地下鉄(銀座線・半蔵門線・大江戸線)

青山一丁目下車 北青山方面0番又は1番出口

平成19年度の桜友会活動実績と今後の行事予定

■平成19年度主な活動実績

- 4月14日 春季全国支部長会
- 4月14日 評議員会
- 4月15日 第21回オール学習院の集い
- 4月18日 神奈川桜友会例会
- 4月21日 八王子桜友会総会
- 5月12日 湘南桜友会総会
- 5月12日 桜友会行政書士会総会
- 5月19日 マスコミ桜友会設立総会
- 5月24日 桜友会総会評議員会
- 5月25日 富山桜友会総会
- 5月26日 埼玉桜友会総会
- 5月30日 北海道桜友会総会
- 5月30日 常磐会総会
- 6月1日 草上会総会
- 6月9日 宮城桜友会総会
- 6月10日 江東桜友会総会
- 6月16日 山梨桜友会総会
- 6月16日 第67回学習院公開講演(長野)
- 6月20日 出版桜友会例会
- 6月30日 理学部同窓会総会
- 6月30日 新潟桜友会総会
- 6月30日 調布・狛江桜友会設立総会
- 7月7日 法学部同窓会総会
- 7月12日 ゴム桜友会総会
- 7月14日 医歯薬桜友会総会
- 7月21日 伝統文化に触れる会
- 7月21日 美術の遊びとこころ「旅」
- 7月22日 児玉幸多先生を偲ぶ会
- 7月28日 国劇部創立60周年記念祝賀会
- 9月9日 茶道部創立50周年記念祝賀会

- 9月15日 国劇部創立60周年記念公演
- 9月27日 第42回常陸宮杯秋季ゴルフ大会
- 9月30日 城北桜友会総会
- 10月2日 就職講演会(大学3年生対象)①
- 10月13日 桜友会特別フォーラム
- 10月18日 就職講演会(大学3年生対象)②
- 10月19日 福岡桜友会総会
- 10月20日 卒業40周年記念同窓会
- 10月23日 新日石桜友会総会
- 10月27日 就職講演会(女子大3年生対象)
- 10月27日 桜友会ハワイアンクラブ総会
- 11月4日 第68回学習院公開講演(埼玉)
- 11月9日 経済学部同窓会総会
- 11月9日 水上スキー部50周年記念祝賀会
- 11月10日 秋季全国支部長会
- 11月10日 学部別自己分析セミナー
- 11月10日 評議員会
- 11月17日 第16回桜友会旅行会
- 11月19日 輔仁会OB・OG会代表者会
- 11月20日 第2回草上セミナー
- 11月24日 ダイビング部創部40周年記念式典

■平成19年度12月以降活動予定

- 12月1日(土) 卒業30周年記念同窓会(百周年記念会館)
- 12月1日(土) 茨城桜友会総会
- 12月8日(土) 石川桜友会総会(金沢・いしや)
- 12月9日(日) バドミントン部創部55周年記念式典(百周年記念会館)
- 12月15日(土) アーチエリー部創部50周年記念祝賀会(ハイアットトリージ エンシー東京・桃山)
- 12月15日(土) 第41回チャリティエチエリーパーティ(グラントプリンスホテル赤坂)
- 12月16日(日) 学習院女子大学面接対策セミナー①
- 12月8日(火) 桜友会臨時総会(霞会館)
- 1月8日(火) 桜友会新年会(霞会館)
- 1月13日(日) 学習院大学面接対策セミナー①(目白キャンパス)
- 1月14日(月) 学習院大学面接対策セミナー②(目白キャンパス)
- 1月20日(日) 学習院女子大学面接対策セミナー②(戸山キャンパス)
- 2月22日(金) 職域桜友会代表者会(霞会館)
- 2月23日(土) 栃木桜友会総会(宇都宮・ホテルニューイタヤ)
- 3月1日(土) 中高桜友会総会
- 3月18日(火) 春季ゴルフ大会

平成19年度役員名簿 (平成19年11月11日現在)

<p>《会長》 内藤 頼誼(昭29高)</p> <p>《副会長》 大井 昭彦(昭34経) 葛城 茂敬(昭34化) 大和田 孝(昭37化) 耀 英一(昭39経)</p> <p>《常務理事》 三野 祥彦(昭39経) 奥津 好恵(昭41英) 林 なおみ(昭42数) 黒川 光隆(昭43政) 金田 雅律(昭44経) 大野 了一(昭47政) 吉江 隆信(昭50仏) 石川 悦也(昭52高) 松尾 薫(昭53政) 竹田 裕彦(昭56法) 飯野 浩一(昭63営) 夏目 勳嗣(平2法)</p> <p>《理事》 松方 康(昭26高)</p>	<p>安田 正(昭30高) 柳井 俊二(昭31高) 久保 治彦(昭32政) 今村 幸一(昭36経) 脇田 宏(昭37化) 江川 和子(昭37短家) 後藤 昭彦(昭38政) 渡邊 琢仁(昭38経) 秋山 豪(昭39経) 児玉 茂幸(昭39経) 杉山真喜子(昭39短国) 一條 實昭(昭39高) 宮坂 裕子(昭40政) 三田 由美(昭41英) 濱岡位久子(昭41短英) 中村 清昭(昭43法) 石寺 俊典(昭43経) 六車 徹(昭46経) 中田 明(昭47法) 善利 秀臣(昭48経) 坂野 雅俊(昭54政) 梅田 尚利(昭57済)</p>	<p>淡野 健(昭60済) 山本 孝広(昭61営)</p> <p>《監事》 杉本 惇(昭32政) 山本 時雄(昭33経) 柳原 從光(昭38経)</p> <p>《役員候補者 推薦委員長》 川瀬 量平(昭34経)</p> <p>《役員候補者 推薦委員》 川原 敏資(昭33経) 松本 博子(昭34短国) 廣幡 忠昌(昭37経) 北村 紀子(昭37短家) 上野 照博(昭38経) 松平 宗紀(昭38物) 内藤 政忠(昭41政) 鈴木 征(昭43化) 金田 雅律(昭44経) 諸戸 典子(昭47政) 監物由美子(昭49政)</p>	<p>石川 悦也(昭52高) 竹田 裕彦(昭56法) 唐澤 博幸(平3法)</p> <p>《名誉会長》 島津 久厚(昭14日高) 賀陽 治憲(昭22日高) 亀井 弘(昭24日高)</p> <p>《顧問》 堀越 善雄(昭15日高) 黒田 長榮(昭18日高) 田中 雄平(昭20日高) 犬養 康彦(昭27政) 小野田 博(昭30化) 草刈 廣(昭31政) 村上 智也(昭31政) 池田 浩規(昭33政)</p> <p>《参与》 六所 五郎(昭12日高) 原口 兼義(昭13日高) 竹屋 康光(昭17日高) 小山 芳敬(昭18日高) 坊城 俊周(昭22日高)</p>	<p>松平 保定(昭22日高) 中山 兼光(昭23日高) 正田 宏二(昭25日高) 小笠原長武(昭27政) 中條 高徳(昭27政) 吉野 和子(昭27短英) 明石 元紹(昭27高) 大木 俊一(昭28政) 前田 眞也(昭28政) 松岡 志郎(昭28化) 高木みどり(昭28短国) 吉村 侑子(昭28短国) 小菅 孝二(昭29政) 二宮洋太郎(昭29経) 浅野三千秋(昭29化) 草野 和雄(昭29化) 小林 規子(昭29短家) 三松 奎作(昭30政) 勝 治信(昭30経) 湯本 和子(昭30経) 吉岡 博光(昭30経) 柏木 雅子(昭30英)</p>	<p>角 雄三(昭31政) 橋本 明(昭31政) 廣部 周助(昭31政) 佐藤助九郎(昭31経) 橋爪 康子(昭31国) 山崎 徹(昭32政) 梶本 孝雄(昭32経) 上田 洋子(昭32短国) 桑原 啓子(昭33政) 菅 忠義(昭33物) 三村真喜子(昭34短家) 高澤 寛(昭35経) 落合 雅子(昭35短家) 武藤 通章(昭37政) 野田 豊(昭40経)</p>
--	--	--	--	--	---

※評議員は省略させていただきます。

桜友会役員異動のお知らせ 新体制で新たな年を迎えます！

大幅に様変わり 桜友会主要役員

平成19年5月24日の総会で、会長が亀井泓氏から内藤頼誼氏へ。亀井氏は名誉会長に就任。また副会長の草刈廣氏が退任し、前年に副会長を退任した村上智也氏とともに顧問に就任。事務局長は高森邦彦

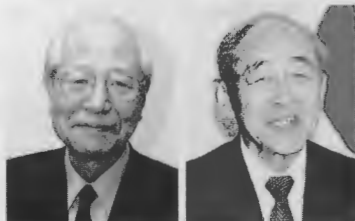
氏から石川悦也氏に交替となりました。
また、11月11日付で学校法人学習院常務理事の福井憲彦氏が学習院大学学長となったため、後任として桜友会副会長の東園基政氏が学校法人の常務理事に就任

しました。東園氏の後任の副会長には葛城茂敬氏が就任。
現在の主要役員は、会長・内藤頼誼氏、副会長・大井昭彦氏、葛城茂敬氏、大和田孝、耀英一氏。事務局長は石川悦也氏。桜友会事務局の事務長も福岡昌之氏から階戸悟氏に交替となっています。



東園基政・学習院常務理事 (昭36物)

亀井泓・名誉会長 (昭24日高)



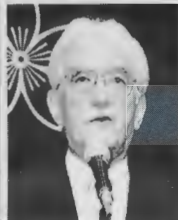
村上智也・顧問 (昭31政)

草刈廣・顧問 (昭31政)

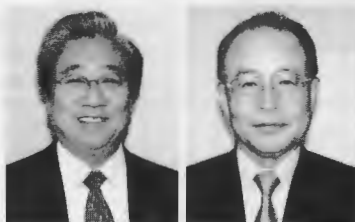


葛城茂敬・副会長 (昭34化)

大井昭彦・副会長 (昭34経)



内藤頼誼・会長 (昭29高)



石川悦也・事務局長 (昭52高)

耀英一・副会長 (昭39経)

大和田孝・副会長 (昭37化)

「学習院桜友会海外研修制度」のご案内

【目的】

- ①卒業30周年記念特別会費を財源の基礎とした社会人対象の海外研修制度。
- ②性別、年齢、研修目的は問わない。
- ③会社、団体等よりの研修目的で渡航する場合の補填、シンポジウム出席、論文作成のための外国施設の利用のための費用も可。
- ④芸術、スポーツ分野の研修も含む。

【応募資格】

- ①桜友会正会員
- ②応募者自身の手続きで外国の大学、大学院、研究施設等で1年以内の研究、研修、論文作成、シンポジウム参加、芸術、スポーツ分野での短期研修等の準備手続きが完了しているか、給付

【給付内容】

- ①応募内容により50万円以内を一括支給
- ②支給は1人1回限り

【選考方法】

【応募方法】

左記書類を所定の日までに桜友会事務局へ郵送、または持参

- ①桜友会海外研修制度願書(指定書式)
- ②研修計画書(形式自由)
- ③研修受入先が確認できる書類

【応募締切り】

毎年度12月中旬

【その他】

研修終了後のレポートを速やかに提出すること

【応募先】

桜友会 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院内
TEL..03-39888-3288
FAX..03-39888-3853



ご好評の音楽葬

当会に団体ご加入の
学習院教職員の皆様
学習院同窓会 桜友会会員の皆様
会員特別価格でご奉仕申し上げます。
すでに多くの方々を丁寧に送り申し上げます。

葬祭ひとすじ40年。東京都民互助会



24時間、365日。年中無休。

東京都民互助会

経済産業大臣許可(互)第3066号
〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8

☎0120-849544

相談役 千家光雄
(昭和29年 政治経済学部政治学科卒)

平成18年度決算書・平成19年度予算書 平成19年5月24日/桜友会総会にて承認

貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

1. 資産の部

(単位:円)

科目	項目	平成19年3月31日現在(A)	平成18年3月31日現在(B)	比較増減(A-B)
運用財産	電話加入権	431,068	431,068	0
	奨学金貸付金	29,942,000	37,168,200	△7,226,200
	未収金	853,492	1,302,627	△449,135
	有価証券	1,248,635,228	1,537,591,076	△288,955,848
	貯蔵品	623,364	488,775	134,589
	前払費用	389,238	337,836	51,402
	立替金	0	0	0
	貯金			
	(定期預金)	230,000,000	0	230,000,000
	(普通預金)	130,748,456	75,471,191	55,277,265
	(郵便振替預金)	7,345,924	18,746,025	△11,400,101
	預け金	0	0	0
	現金	570,167	504,291	65,876
	運用財産計	1,649,538,937	1,672,041,089	△22,502,152
資産合計	1,649,538,937	1,672,041,089	△22,502,152	

2. 負債および正味資産の部

(単位:円)

科目	項目	平成19年3月31日現在(A)	平成18年3月31日現在(B)	比較増減(A-B)
負債	前受金	217,115,000	267,340,000	△50,225,000
	未払金	1,257,136	3,400,235	△2,143,099
	引当金	29,942,000	37,168,200	△7,226,200
	仮受金	595,545	739,463	△143,918
	預り金	25,764	25,291	473
負債計	248,935,445	308,673,189	△59,737,744	
正味資産	積立金	930,000,000	870,000,000	60,000,000
	施設拡充積立金	140,000,000	110,000,000	30,000,000
	桜友会育英資金積立金	150,000,000	150,000,000	0
	桜友会基金積立金	63,000,000	0	63,000,000
	資産運用準備金積立金	20,000,000	0	20,000,000
	前期繰越金	60,367,900	99,075,282	△38,707,382
	当期収入費用差額	37,235,592	134,292,618	△97,057,026
正味資産計	1,400,603,492	1,363,367,900	37,235,592	
負債・正味資産合計	1,649,538,937	1,672,041,089	△22,502,152	

平成18年度決算総括表

収入の部	212,973,886
費用の部	175,738,294
収入・費用差額	37,235,592

計 報

穂積俊玄 大13旧高	石川昌彦 昭35政
藤田兵蔵 昭2旧初	石井敬一郎 昭35化
榊原政美 昭2その他	中村淳子 昭39独
森井治彦 昭6旧初	広山千鶴子 昭40国
島津泰丸 昭14旧高	菊地信男 昭42法
伊瀬地好道 昭18旧高	鑄谷谷美子 昭42政
榎筒隆恭 昭27高	塩治洋一 昭42化
立木得太郎 昭27高	森岡正名 昭42化
蝦名憲芳 昭30政	石橋亨 昭48高
古賀治 昭30経	吉原茂 昭48高
五十嵐俊次 昭30化	安田洋子 昭48史
千家崇彦 昭31政	辻規子 昭48短英
堀一恵 昭32政	山口正人 昭52政
宮田安男 昭32政	吉田美枝 昭52哲
村田守 昭32政	片桐頼継 昭58哲
嘉田弘子 昭33短文	菊地英樹 平元政
島田裕三久 昭34政	早崎次郎 平2高
榎園泰栄 昭34政	小棚伸悟 平17政
斎尾俊文 昭34経	

慎んでおりやみ申し上げます。(各敬称略)

会員情報の更新(会員番号をお知らせ下さい) 会員の現況情報は、原則的にご本人から桜友会事務局へのご連絡によって更新しております。ご逝去の場合はご家族からのご連絡によります。ご家族からのご連絡以外に、知人の方や各組織から新しく提出された名簿の照合によることもあります。確実に会員情報を更新するために会員番号をお知らせいただければ幸いです。会員番号は宛名シールの下部に印刷されている10桁(4桁-3桁-3桁)の数字です。ご協力よろしくお願いたします。

平成18年度収入費用決算書並びに平成19年度収入費用予算書

収入の部

(単位:千円)

項目	平成19年度予算	平成18年度決算額
会費収入	89,430,000	94,181,500
寄付金収入	0	0
財産収入	40,000,000	99,453,549
事業収入	9,350,000	11,744,309
その他の収入	450,000	368,328
引当金戻入	2,000,000	7,226,200
収入合計	141,230,000	212,973,886

費用の部

(単位:円)

項目	平成19年度予算	平成18年度決算額
人件費	20,430,000	15,252,952
事務費	15,845,000	8,297,393
事業費	82,937,000	151,398,095
予備費	5,000,000	0
一般経費	120,000	103,343
その他	1,000,000	686,511
収支差額	15,898,000	37,235,592
費用合計	141,230,000	175,738,294

剰余金処分

(単位:円)

前年度繰越剰余金	60,367,900
当年度収入超過額	37,235,592
桜友会基金積立金取崩	63,000,000
計	160,603,492
これを次の通り処分する。	
基本会費積立金繰入	70,000,000
施設拡充積立金繰入	30,000,000
計	100,000,000
次期繰越剰余金	60,603,492
上記の平成18年度決算書・平成19年度予算書は監事4名により確認されました。	

平成19年度委員会組織表

平成19年11月11日現在

部会名	担当副会長	委員会名	委員長(副)	主な業務内容
情報	大和田副会長	情報発信広告委員会	黒川常務理事 吉江常務理事(副)	①桜友会報、短信、HP等の取材編集発行 発信業務 ②協賛広告・受注活動推進
組織	葛城副会長	組織委員会	三野常務理事 夏日常務理事(副)	①大学各学部会、草上会、中高桜友会及び 学年会(周年行事を含む)の活動支援 ②会員拡大の為の企画運営 ③全国支部、輔仁会、職域桜友会等の活動 支援・首都圏会員の組織化推進 ④学校法人主催の公開講演への協力
			松尾常務理事	「オール学習院の集い」 「チェリーパーティー」の企画実施
親睦行事	大井副会長	催事委員会	三野常務理事 林常務理事(副)	月例会(首都圏桜友会)、伝統文化見学、 講演会等の企画実施
		月例行事委員会	金田常務理事 大野常務理事(副)	新年会、ゴルフ会(常陸宮杯、桜友会長杯)、 旅行会の企画実施
母校支援	大井副会長	親睦委員会	竹田常務理事	準会員に対する就職支援活動
		準会員就職支援委員会	黒川常務理事	日本及び学習院の伝統と文化を在学生に伝 える為の具体的方法検討
		桜友会講座準備委員会	奥津常務理事	①院在学生及び部活への助成金の支給 ②院在学生への桜友会奨学金支給及び海外 留学生への支援
事務局	大井副会長	助成金支給委員会	石川常務理事	①桜友会事務局の統括 ②学校法人学習院 との折衝窓口(基本会費徴収・桜友会基金 ・会館建設・桜友会カード等) ③その 他の委員会に属さない事項
		総務委員会	大和田副会長	①会員把握の為のデータ管理 ②名簿メンテナンス
		データ管理委員会	飯野常務理事	①月次収支、中間、年次決算報告 ②予算 案に基づく編成 ③基本財産の運用管理 ④経理業務
		財務委員会		

「有難うございました」 会長退任に当たって

亀井 泓
(桜友会名誉会長)



桜友会長を退くに当たっては、“有難うございました”というお礼の言葉が総てです。至らない私を何時も温かく支え、励まし導いて下さった方々への感謝の気持ちで一杯です。私にとっては、“一期一会”の尊さを教えられた5年間でした。自分の仕事や家庭を持たれた方々が、ボランティアとして力を尽くされる姿には心底頭が下がりました。桜友会を支えているのはこうした方々の母校、桜友会への熱い思いです。会長としてはそうした方々のご好意に甘え切っていたことを感謝と共に反省もしております。

桜友会員は来春には11万人を超え、今後も毎年2千人以上増えていきます。ここまで規模が大きくなると、その活動も個人の好意にばかり頼るのには限界があるでしょう。会員が増え組織が大きくなることは、それが活き活きと動く限りは素晴らしい力になりますが、全体に血が回らなくなるとその組織は蝕まれます。この問題に如何取り組むかが、今後の鍵になります。

グラウンドを退いたこれからは、何時も応援団の最前列に陣取って、“フレイ フレー 桜友会”と声を限りにエールを送り続けます。

長嶋の顰(ひそみ)に倣えば「わが桜友会は永久に不滅です！」
本当に有難うございました。

(平成19年5月、桜友会長を退任、名誉会長に就任)

草刈副会長も退任、
村上元副会長とともに
桜友会顧問に就任

平成19年5月24日の桜友会総会で亀井泓会長が退任、後任の会長に内藤頼誼氏が選任されました。同時に亀井会長を5年間にわたって支えてきた副会長の草刈廣氏、事務局長の高森邦彦氏も退任となり、新たな桜友会がスタートしました。

総会に先立つ4月14日の評議員会では、亀井会長が特別に両氏に対して感謝の言葉を述べながら、ご自身の退任の挨拶をされました。特に草刈副会長は、評議員23年、理事11年で役員通算34年という長きにわたって桜友会に貢献されました。本当にお疲れさまでした。

亀井会長は名誉会長に、草刈副会長は前年に退任した村上智也元副会長とともに顧問に就任。



左より高森氏、亀井氏、草刈氏(平成19年4月14日の評議員会で)

学習院大学・女子短期大学昭和42年卒業生
卒業40周年記念同窓会

平成19年10月20日 新宿・京王プラザホテルにて



今も活躍するブルーレンジャースの演奏とダンスも



ピラミッド校舎を模したケーキも登場



発起人副代表の野島昭昌氏

学習院を卒業してから40年。

「あのころの友、これからも友」のテーマ通りに、

40年変わらぬ友情を再確認。

時間が足りなくなるほどに、イベントも盛りだくさんで、
大きな会場は、出席者の熱気で夏のように感じられるほどだった。

すでに定年も過ぎているはずなのに、まだまだ元気な同窓生は、
会の終わりはもう50周年の話になっていた。



内藤桜友会長の音頭で乾杯



左から波多野学習院長、内藤学習院常務理事、永田大学長、永井女子大学長



左から内藤桜友会長、東園桜友会副会長、三野桜友会常務理事

10月20日、東京・新宿の京王プラザホテルで卒業40周年記念同窓会が開催された。1200名へ案内を出して、約380名出席という、脅威の出席率。そこからわかるように、会は大盛況。カクテルパフォーマンスあり、ブルーレンジャースの演奏あり、カントリーダンスあり、抽選ありでいくら時間があっても足りないほどだった。閉会の林なおみ氏の挨拶で、「次は50周年でお会いしましょう」との言葉に会場は笑いに包まれ終了した。

カントリー
&ウエスタンの
バンド演奏が会場内を
若々しい雰囲気にも!



待ちに待った同窓会だけあって、あちこちから大きな笑い声や歓談の音が響いていた



京王プラザホテル名物のカクテルパフォーマンスも登場。参加者はその華麗な手さばきに見とれていた



近衛麻子発起人代表から内藤政武学習院常務理事へ寄付金目録が贈呈された



「卒業40周年記念同窓会」の文字が入ったケーキに同期生夫婦がケーキ入刀



抽選で当たった方が商品を受け取りに来たら、そこには懐かしの友人が待っていた



元応援団長の小牧鶴永氏のリードで院歌斉唱。さすがにマイクがなくてもよく響く声だった



ブルーレンジャースの音楽に合わせて、当時流行のカントリーダンスも披露された



10年前の30周年にひきつづき、今回の司会もこの2人。見事に賑やかな会を引き締めた

様々な趣向で楽しんだ一夜。
新たな思い出がひとつ
心の奥に刻まれた。

来年は昭和43年卒業生が40周年で、平成20年9月20日にホテルオークラで開催予定。また、昭和53年卒業生が30周年です。開催情報の詳細は桜友会ホームページ等でお知らせします。お楽しみに！

卒業30周年記念同窓会は、平成19年12月1日17時より、本格的な冬を迎えた目白キャンパス内の百周年記念会館小講堂で開催された。大学、短大、高等科、中等科、初等科で同じ年月を過ごした仲間が一堂に集まる会とあって、会場は汗ばむほどの熱気に包まれた。また「ピラ校は老朽化のため、来年には取り壊されて新しい建物に生まれ変わることが決まりました」との一文が案内状にあったためか、「ピラ校話」で盛り上がるグループがあちこちで見られた。

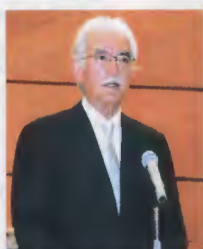
**卒業30周年
記念同窓会は
12月1日、
目白で開催**

曾野綾子氏を講師に フォーラムを開催

『世界の中の日本—世界は泥棒だらけ』

平成19年10月13日 百周年記念会館正堂

第1回目のリチャード・アーミテージ氏、第2回目の藤原正彦氏に次ぐ第3弾として開催された「桜友会特別フォーラム」。今回の講師は作家の曾野綾子氏。作家らしいユニークな発想に目を見張らされた。



内藤頼詮桜友会長

講師プロフィール

曾野綾子(その・あやこ)

聖心女子大学文学部英文科卒。23歳で「遠来の客たち」で文壇デビュー。小説・エッセイ・ノンフィクションの執筆のほか、論客としても辛口の評論やコラムを手がける。

「神の汚れた手」「時の止まった赤ん坊」「天上の青」「哀歌」「日本人が知らない世界の歩き方」「貧困の光景」「鍋釜と愛国心」など著作多数。恩賜賞・日本芸術院賞受賞、日本芸術院会員、文化功労者。海外邦人宣教師活動援助後援会代表、日本学生支援機構政策企画委員会委員など多くの役職を務める。



満員となった百周年記念会館正堂

平

成19年10月13日、1000人を超える聴衆を集めて、第3回桜友会特別フォーラムが開催された。今回の講師は作家・曾野綾子氏で、演題は「世界の中の日本—世界は泥棒だらけ」。世界100カ国以上を訪ね歩いた経験から、異文化との出会いや、互いを尊重する必要性を説き、またそこから見えてきた世界についての話をされた。当日は寛仁親王殿下もご臨席になられ、講演をされました。

フォーラムは内藤桜友会長の挨拶に始まり、司会の滝井礼乃テレビ東京アナウンサーからの曾野綾子氏のプロフィール紹介後、講演となった。

その中で「極貧のアフリカでは、命ですら選択の対象になる、育たない子供には必要な酸素も食料も与えられない、そんな現実があります。そしてアフリカでは国が独立をはたしても、その後には豊かになったところなどほとんどなく、独立させることがその国のためだと思っても、必ずしもそうではありません。日本の常識では計り知れないものがあるんです」というような、非常に衝撃的な内容もあった。

また一瞬ドキッとする演題について、例えば発展途上国といわれる国々に援助をしたとしても、その援助は立場が上の者から取っていき、民衆にはほとんど渡らないという現実も示された。

最後に「私は日本に生まれて嬉しく、感謝しています。皆さんもそういう感謝を、どこかへ寄付という形でも、どういう形でもいいので返して欲しいんです。そしてとにかく死ぬまで働いて、本を読んでもください。そこから何か学べれば楽しくありませんか？ そこから選択の幅が広がることは、とても良いことだと思います」との言葉で、講演を結んだ。

毎月第2木曜日に桜友会主催の定例講演会

桜友会「月例会」へ!

同期会などのテーブルもご用意します。

桜友会主催の「月例会」を12・1月と8月を除く毎月第2木曜日に開催しています。

軽い食事と飲みもの付きで、毎回各界で活躍する卒業生の話を聞くもので、

同期生同士の懇親の場としても最適。地方在住の皆さまも出張などにあわせてぜひご来場下さい。

平成19年「月例会」 目白・百周年記念会館にて

1・8・12月は恒例により休会。2月は会場の都合で休会。



第168回 3月8日

山崎泰子氏 (昭28短家) 元駐英大使夫人
「インドネシアのBatikに魅せられて」



第169回 4月12日

北白川道久氏 (昭35経) 伊勢神宮大宮司
「神宮の遷宮」—悠久なる心と文化の伝承—



第170回 5月10日

小早川隆治氏 (昭38物)
元マツダロータリーエンジン開発、現在フリーランサー
「ロータリーエンジン苦闘の歴史と日本のクルマづくりへの心配事」



第171回 6月14日

呉 文彦氏 (昭55高)
日本テレビ放送網・社会部政治部記者元ワシントン支局長
「一通の手紙—憲法9条とイラク戦争」



第172回 7月12日

辻川一徳氏 (昭30高)
フジテレビ、ロンドン・ベルリン支局長
「世界のビッグアーティストとの出会い・その舞台裏」



第173回 9月13日

高澤みゆき氏 (平11心)
心理カウンセラー・東京女子医大勤務
「子どもの心を知る—その危機と対応」



第174回 10月11日

松井 豊氏 (昭34高)
神奈川県立成人病センターを経て、カナダ在住/現在執筆家
「カナダで楽しむスローライフ」

第176回 予告 平成20年は霞会館が会場です。

こんぼるやすあき
金春安明氏 (昭51国)

「室町時代の日本のこころの集大成」

平成20年2月14日

昭和27年奈良県生まれ。昭和51年学習院大学国文科卒業。平成元～5年能楽協会東京支部常議員、平成3～5年同理事、平成5～13年同常務理事。能楽師(能楽シテ方金春流八十世宗家)重要無形文化財総合指定保持者。

※第177回は3月13日に二宮裕子氏(昭33女子中卒/桐朋学園大学音楽学部教授)を講師に開催予定。

第175回「月例会」

平成19年11月8日 目白・百周年記念会館にて

荒川正明氏 (昭59哲)

出光美術館主任学芸員



「尾形乾山の陶芸」 懐石のうつわの源流

尾形光琳の5歳下の弟である乾山の生涯と各時期の作品をスライド映像をまじえながら解説。遊びごころいっぱいの雅びな意匠の背景や兄・光琳との関わりが興味深く、時が経つのを忘れた。窯跡の発掘の成果など最新情報に触れることもできた。

<講師略歴>

昭和35年茨城県生まれ。県立水戸第一高卒。昭和59年学習院大学哲学科美術史専攻卒業。同62年修士課程修了後(財)出光美術館学芸員。平成13年同美術館主任学芸員となり現在に至る。この間、学習院大学、慶應義塾大学、金沢美術工芸大学で講師も勤める。専攻は日本陶芸史。著書に『板谷波山の生涯』(河出書房新社)、『やきもの見方』(角川選書)などがある。

Art of Kenzan and His Brother Kōrin



平成19年11月3日～12月16日に出光美術館で「乾山の芸術と光琳」展が開催された



だれかを誘ってぜひ一度ご来場を
平成19年は霞会館の内装工事のため目白の百周年記念会館で開催したが、平成20年は再び長年にわたって会場としてきた霞会館での開催となる。
桜友会員同士の定例の交流の場であり、さらに多くの会員の参加を望みたい。同期会やサークル、職域などのグループには同じテーブルを用意してくれるので、あらかじめ桜友会事務局にお申込みを。
開催日 年末年始の12・1月、夏休みの8月を除く毎月第2木曜日。18時より開場。飲みもの軽い食事と懇談後1時間ほどの講演。
場所 霞会館
会費 男性4000円、女性3500円(当日会場にて受付)。

第68回「学習院公開講演」

平成19年11月4日 さいたま市浦和区にて

学校法人学習院、学習院大学が主催、学習院父母会、常磐会、桜友会などが後援する「学習院公開講演」。

本年度は6月に長野市で第67回、11月にはさいたま市で第68回の公開講演が開催された。

いずれも地元桜友会が全面バックアップしている。

『明日を素敵に生きるには』

あんどう かづ
安藤和津氏

エッセイスト(学習院女子中・高卒)

学習院初等科から女子中・高等科を卒業。上智大学卒業後イギリスに2年間留学。現在、文化放送「安藤和津TEPCOトークマルシェ」に出演するほか、下関市文化振興財団理事長(平成15年4月～)、文化戦略会議エンジンゼロワンメンバー、福島県ブランド認証委員(福島県商工労働部主催)、法教育推進協議会委員(法務省大臣官房司法法制部主催)、エネルギー情報研究会委員(財団法人社会経済生産性本部主催)などで活躍。



『深層心理とマーケティング』

うえだたかほ
上田隆穂氏

学習院大学経済学部教授

昭和53年東京大学経済学部経済学科卒業、株式会社東燃に入社。同55年同社退職後、一橋大学大学院商学研究修士課程に進学。同60年博士課程単位取得、一橋大学商学部助手に就任。同61年同大学を退職、学習院大学経済学部専任講師に就任。同62年助教授。平成4年教授。同12年経営学博士。著書に「日本一わかりやすい価格決定戦略!」(明日香出版社)、「テキストマーケティングによるマーケティング調査」(講談社)などがある。



熱心に耳を傾ける来場者



講演に先立ち主催者挨拶をする波多野敬雄学習院長。学習院は一貫教育のよさがある。大学は先生がいい、就職率がいい、と学習院をアピール

学習院関係者懇談会

主催 学校法人学習院 埼玉



講演後の学校法人と埼玉桜友会主催の関係者懇談会で挨拶する埼玉新聞社の丸山昇社長。同新聞社は今回の公開講演の後援会社の一社

第67回は6月16日に長野市のホテル国際21で、経済学部教授の川嶋辰彦氏(「青年達の器量」)、俳優の児玉清氏(「負けるのは美しく」)により開催されている。

第68回は6月16日に長野市のホテル国際21で、経済学部教授の川嶋辰彦氏(「青年達の器量」)、俳優の児玉清氏(「負けるのは美しく」)により開催されている。

学習院の在学生数第1位は東京都、第2位が神奈川県で、埼玉県は第3位。前回の箱根駅伝で関東学連選抜チームの一員として出場した法学部の川内優輝君も埼玉県立高校出身。冒頭の挨拶で波多野院長が学習院と埼玉県の関係をアピール。

東京・神奈川に次ぐ
埼玉県からの在学生

恒例により学校法人との共催で、全国44支部の代表者が!

秋季全国支部長会

平成19年11月10日 目白・百周年記念会館にて

毎年秋の全国支部長会は学校法人との共催で行われている。

今回の支部長会も波多野敬雄学習院長、永田良昭大学長、永井和子女子大学長をはじめ
学校関係者多数が出席。募金の現状や就職状況の説明などがあった。



百周年記念会館の小講堂。左奥が学校法人の席。右手に桜友会各支部長が並ぶ

学校関係者との
交流を深めた
支部長会・評議員会
終了後の懇親会。



桜友会の役員同士が親しく語り合う



桜友会老・壮・青が一体となって



よりよい学習院をだれもが作りたい。懇親会でも議論!



ここは学校法人と桜友会の意見交換の場

支部長会終了後 評議員会を開催

支部長会の出席は全国44支部(秋田・山梨・北九州・長崎・熊本)の5支部が欠席。学校側からは院長、両大学長ほか各担当部長が出席、桜友会からは会長、副会長、理事のほか今回は組織委員会の全国支部支援チーム所属の委員が出席した。

会議では、募金の現状、本年度に開催された長野と埼玉での学習院公開講演、大学・女子大の就職状況について、それぞれ学校の担当者から説明があった。

内藤桜友会長からは東園基政桜友会副会長が学校法人の常務理事に就任することなど、桜友会の現況説明があった。なお、大学の様々な改革について説明した永田大学長は、この日が最後の仕事となった(11月10日付で退任)。終了後は桜友会評議員会が開催された。



永田学長をねぎらう。「本当にお疲れさまでした」

FACULTY OF ECONOMICS
**経済学部
同窓会**

**京王プラザホテルの
多村繁樹氏が講演**

平成19年11月9日(金)
第26回経済学部同窓会総会

平成19年11月9日、百周年記念会館で第26回経済学部同窓会総会が開催された。総会後の講演は京王プラザホテル相談役・多村繁樹氏(昭42経)による「私の体験的ホテル経営論」。同氏は昭和18年満州生まれ。九州の高校から学習院大学に入学。

卒業後京王電鉄に入社。入社以来ホテル関連の仕事が3分の2というホテルの専門家。ホテルの立ち上げに参画した京王プラザホテル札幌で社長、新宿の京王プラザホテルでも社長を勤めた。ふたつのホテルでの約10年間ずつ、20年間の体験が今回の講演で披露された。

これからのホテルづくりについて、収益性を考える



総会で挨拶する内藤政武経済学部同窓会長



岩田規久男経済学部長



懇親会でも多村氏を囲みホテル談話に花が咲く



今回の講師、多村繁樹氏(昭42経)

と、宿泊・料飲・宴会・付帯といったランドホテルの時代は終わりで、宿泊特化型のホテルビジネスの時代だという。また、最近日本に進出している外資系のホテルは規模が小さいので恐れるに足らない。日本のホテルのサービスマイナンドは世界に誇れるものであり、マスコミ、ホテル評論家はもっと実状を見てほしいとも。

講演後は恒例の懇親会が開催され、学校法人、校友会、草上会、父母会、常磐会からの来賓をはじめ、多数が参加した。



懇親会は学校関係、校友会各組織からの参加者も含め盛大に催された

FACULTY OF LAW
**法学部
同窓会**

**香川達夫ゼミ「香櫻会」
7月に年次総会を開催**

「香櫻会」とは学習院大学名誉教授で法学部長も務めた香川達夫先生のゼミのOB・OG会のことです。毎年総会が開かれており、平成19年度も7月8日の12時から、東京・新宿のホテルセンチュリー・サザンタワー21階の「イーストルーム」で行われました。大先輩から平成卒業の新人(?)まで40人以上の参加者を集めて開催いたしました。

当日は香川先生だけでなく奥様にもご出席いただき、多くの教え子たちと和やかなひと時を持つことができました。

先生は今年6月30日で満81歳を迎えられ、ますますお元気で。また来年の総会での再会が楽しみです。



参加者全員で記念写真



花束を贈呈された香川先生と奥様

他学部出身の方の講演会への参加を歓迎いたします。お誘いあわせのうえぜひご出席下さい。

**第22回
オール学習院の集い
法学部同窓会
講演会**

講師：石田和雄氏
(昭45法/弁護士)

日時：平成20年4月13日(日)
14~15時

会場：北1号館・法学部同窓会
会費：無料

正午から15時まで会場は開いております。
お気軽にお立ち寄り下さい。

第14回総会での高島隆久氏の講演要旨は4~5頁をご覧ください。

元学習院女子短期大学長・学習院大学長 故・児玉幸多先生 お別れの会が目白で

平成19年7月22日

7月22日、百周年記念会館で、元学習院大学学長・学習院大学名誉教授 児玉幸多先生のお別れの会が開かれた。この会は学習院大学教職員・教え子有志、江戸東京博物館、品川歴史館、地方

史研究協議会、交通史研究会、日本歴史学会との共同で開催された。児玉先生は日本近世史の研究で多くの業績を残し、教科書などの編纂などにも携わり、現在の日本史研究では欠くことのできない研究者の一人だ



挨拶をする児玉幸多氏



祭壇には笑顔の児玉先生がいた



児玉先生の多くの著作も展示された



学校関係者、桜友会関係者も多数参列した

った。学習院においても、要職を歴任し、戦後混乱期には中等科長として物資不足の中、生徒の生活や健康にも最大限の注意を払いつつ、見事に乗り切られたという。

「お別れの会」は実行委員長の高埕利彦学習院大学文学部長の挨拶で始まり、史学科創設時からの同僚で元学習院大学長の小倉芳彦氏、地方史研究協議会会長の所理喜夫氏、そして学習院女子大学教授で教え子でもある松尾美恵子氏が弔辞を読まれた。

続いて、先生のご長男で桜友会理事の児玉茂幸氏が、家族としての先生との思い出や、少し前に亡くなられた奥様との仲睦まじい様子などを話された。その後は参列者の献花となり、小講堂に場所を移して先生を偲ぶ会が催された。会には全国から、多くの歴史関係の研究者や、親交のあったご友人たちも参列された。

〈児玉幸多先生略歴〉

明治42年長野県生まれ。昭和9年東京帝国大学大学院満期退学。農林省嘱託、第七高等学校造士館講師・教授を経て、昭和13年学習院教授に就任。昭和20年から23年まで皇后宮御用掛、東宮職御用掛、宮内府御用掛。学習院中等科長、学習院大学文学部史学科主任、学習院女子短期大学長、学習院大学長などを歴任し、昭和55年定年退職。平成19年7月4日永眠（満97歳）

入場自由の「文学会」主催 コンサート

6月8日、百周年記念会館正堂において、学習院大学文学部主催、豊島区後援の「CONCERT TO LIBERALE」ヨーロッパ世界音楽における「時」と「場」と題された音楽会が開催された。今回で3回目となり毎回多くの人が参加するこの音楽会は、音楽史を中心に行われている、総合基礎科目「ヨーロッパ世界」の授業の一環として開かれたもので、当日は学生をはじめ、教職員、桜友会員、地域の住民の方々など、800名を超える人々が参加した。

出演はバロック・アンサンブル「ラ・フォンテーヌ」から、リコーダー・バロックオーボエの江崎浩司氏、チェンバロの水永牧子氏、バロックチェロの高群輝夫氏と、ゲスト演奏者としてバロックバイオリンの天野寿彦氏の4名で、ヘンデル、バッハ、ヴィヴァルディなど11曲とアンコール曲が演奏された。演奏者による楽器の説明などもあり、みな一様に傾きながら興味深く聞いていた。普段聞いている楽器の音色とは、また一味違ったバロックの音色で、当時のヨーロッパを体感するひと時となった。

常磐会だより

行事のご案内

常磐会では来年、平成20年もさまざまな企画を予定しております。桜友会員の皆様もどうぞお出かけ下さい。

◎チャリティー上映会

「無名の人 石井筆子の生涯」

日時：平成20年1月31日（木）

14時開演

場所：創立百周年記念会館3階小講堂

◎オール学習院の集い

常磐会教養部の四科展（茶道、華道、書道、盆石）を開催。各科が日頃の研鑽の成果を発表いたします。

日時：平成20年4月13日（日）

場所：創立百周年記念会館3階小講堂

◎チャリティーバザール

会員手作りの品や寄付金、会員の関わる商品の販売をいたします。

日時：平成20年4月24日（木）

場所：創立百周年記念会館1階ホワイエ

《問合せ》常磐会事務室

TEL 03・3982・1687

FAX 03・3988・3230

E-mail gakushuin-tokiwakai@dream.ocn.ne.jp

FACULTY OF SCIENCE
理学部同窓会

平成19年度
理学部同窓会総会を開催

平成19年6月30日 西5号館201教室にて

6月30日(土)
理学部同窓会
の平成19年度
総会・講演会・懇親会が開催さ
れました。

監事の選出、18年度事業報告、
同決算報告、同監査報告に続き
別項の19年度事業計画案が上程
され、慎重審議の上、満場一致
でこれを承認いたしました。

引続き、今春、42年間の在職
の後、停年退職された元本学理
学部教授片瀬潔氏に「理学部あ
れこれ」と題し、懐かしい話、
楽しい話をご講演頂きました。

その後、会場をホテルメッツ
目白内のレストランフィオレン
ティーナに移し、恒例の懇親会
を開催いたしました。

講演会、懇親会には、波多野

**理学部同窓会
平成19年度事業計画**

1. 会員に対するサービスの充実
 - ・同窓会誌10号の編集準備
(平成21年発行予定)
 - ・卒業生データベースの整備
 - ・ホームページの充実
 - ・親睦
 - ・技術交流会
2. 準会員(学生)に対するサービスの充実
 - ・就職支援活動
3. 理学部・校友会に対する協力
 - ・校友会主催の行事への参加
 - ・理学部(教員・学生)との交流
4. その他
 - ・常任幹事会
 - ・幹事の選任(年度別、研究室別)
 - ・同窓会の将来について



懇親会での波多野院長



葛城理学部同窓会長

技術交流会

第41回講演会(同窓会総会講
演会と共催)。平成19年6月30
日(土)「理学部あれこれ」片
瀬潔元理学部教授。

第42回講演会。同7月28日
(土)「代数体のイデアル群類と
楕円曲線」中野伸理学部教授、
「ステイルカメラの現状と将来
—フィルムカメラは残れるか」
日大芸術学部写真学科非常勤講
師近藤英樹氏(昭32物)を開催
いたしました。

技術交流会は毎回、理学部の
一研究室とOBとの2名の方に
ご講演を頂いております。ご講
演頂ける方、講師を紹介頂ける
方、また入会希望の方は別掲の
理学部同窓会連絡窓口迄ご連絡
下さい。尚、技術交流会には理
学部出身者に限らず何方でも入
会できます。



講演いただいた片瀬元理学部教授

理学部近況

平成20年度より生命科学専攻
が開設されるのに伴い、本年4
月に馬淵一誠教授(細胞生物学)
が就任されましたが、10月から
は新たに花岡文雄教授(分子生
物学)が加わりました。

理学部の新しい研究の中心と
なる新研究棟は、来年度より建
設が開始されます。そして、平
成21年3月末には、南1号館の
南側に、地上9階、地下1階の
建物が完成予定です。

前回の校友会報に南1号館
(昭和2年建設)が壊されると
いう記事が載りましたが、それ
は誤報で南1号館は残ります。
但し、理学部専用ではなく、
教室や会議室などとして全学で
利用される方向で検討中です。

研究以外の活動としては、夏
休みに中・高等科生(男女)を対
象として研究室体験、また、初
等科5年生を対象とした理学部
体験を実施し大変好評でした。

理学部同窓会ゴルフ会

会員相互の親睦を目的に始め
られたゴルフ会も次第に多くの
方々に知られ、参加者も増えて
まいりました。今年度は第6回
大会を平成19年5月15日(火)

に、第7回大会を同10月16日
(火)に、いずれも富士平原ゴル
フクラブで

理学部同窓会連絡窓口(事務局)

- 〒161-8691 東京都落合郵便局私書箱第55号
学習院大学理学部同窓会
- E-mail: doso-ri@gakushuin.ac.jp
- E-mail: NAOMITOKYO@aol.com

理学部同窓会ホームページ

- http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/
gakubukai/rigakubu.htm



スタート前にみんなで記念写真

ス賞はいずれも小坂登氏がそれ
ぞれ獲得されました。

次回第8回大会は平成20年5
月中旬、富士平原ゴルフクラブ
で開催の予定です。同期会や研
究室会等、グループでの参加も
歓迎いたします。

案内メールを希望される方は
左記または別掲の理学部同窓会
連絡窓口までご連絡下さい。
ゴルフ会幹事 酒井佐芳(昭34
物) ssakai@h02.itiscornet

「草上会たより」が結ぶ

卒業生の「ぎぎぎ」な

「ご覧になり
ましたか!?」
「みんなで支
える草上会」
を目指し、維

持運営費をお納め下さいまし
た会員皆様のご理解とご協力
のもと「草上会たより」Vol.1
が発行されました。

以前より、「短信」休止につ
いて「何故、来なくなつてし
まったのかしら?」「あのハガ
キで草上会活動がわかり参加
したこともあったのに……」
等々耳にしていました。草上

維持運営費の納入について

平成19、20年度分が未納の方は随時受付しておりますので、3000円を下記のいずれかにお振り込みお願いいたします。

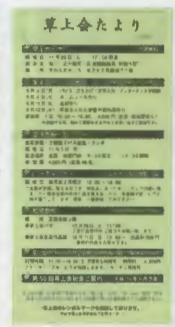
- ・三菱東京UFJ銀行 高田馬場支店 普) 2093108 学習院 草上会
 - ・みずほ銀行 高田馬場支店 普) 2546988 学習院 草上会
 - ・三井住友銀行 高田馬場支店 普) 4373066 学習院 草上会
- 振込の際には必ず会員番号をお名前の前にご記入下さい。
○振込み手数料が必要な場合は、各自ご負担下さい。
○ご入金いただいた方への領収書等の発行はいたしません。
振込時の領収書をもって替えさせていただきます。

会を運営していく上で、会員の参加と支援は不可欠なものです。そのためにも、草上会の活動や行事を多くの会員にお伝えし、同窓会として身近な存在に感じていただくことが運営委員の願いでもありました。このたび維持運営費を納めていただくことにより「短信」に代わる「草上会たより」をお送りすることができるようになりました。

「草上会たより」発送後、さつそく、励ましのお便りや遠方の会員の方から「懐かしく読みました」とのお便りが事務局宛に届けられ、お電話で「活動状況も良くわかり読み易かったです」など直に感想を聞かせていただきました。また「草上会たより」で行事を知り「パソコン教室」「皇居参観ツアー」の参加者が増加。互敬会館を使用したのクラス会申し込みもあり、19回生の皆様が集われました。とても嬉しい反応の数々です。

この「草上会たより」が核となり同窓会の輪が広がること、皆様の声が多く寄せられることを願っています。

※平成19年7月31日以前に維持



「草上会たより」Vol.1

運営費をお振込みになった方で、まだ「草上会たより」が届いていない方はお申し出ください。

シンボルマーク募集中!

来年「第50回総会」を迎えるにあたり、草上会ではシンボルマークを広く会員の皆様より募集しています。作品を草上会事務局までお寄せ下さい。

37年ぶりのクラス会

平成19年9月29日、互敬会館にて37年ぶりに家庭生活科一類19回生のクラス会をⅡ類同窓会にご一緒させていただきました。開催致しました。神奈川、千葉、埼玉はもとより、遠くは山形、宮城、長野在住の方々も駆けつけてくださり、18名が集いました。

久方ぶりに訪れた母校は、昔の面影を残しつつも、現代的なおしゃれな建物となっており改めて歳月の流れを感じました。

昼食をはさんでの歓談は、思い出話に花が咲き、37年間の空白を埋めて余りあるものでした。それぞれがより魅力的に輝きを増し、学生時代とは一味違



何年経っても同窓生は、すぐ打ち解けて会話に花が咲く

平成19年度 総会・懇親会報告

第49回草上会総会・懇親会が平成19年6月1日(金)センチュリーハイアット東京において、常陸宮妃華子殿下をお迎えし、約160名の会員参集のもと盛大に行われました。総会では新運営委員紹介の後、濱岡位久子新会長挨拶、続いて議題に移りました。

- 一、平成18年度活動報告
- 一、平成19年度活動予定(案)
- 一、平成18年度決算報告
- 一、平成19年度予算(案)
- 一、維持運営費に関する報告
- 一、教養講座閉講の報告

最後の議題は時間不足となり、懇親会終了後、互敬会館3階集会所で質疑応答が行なわれ、全議題が報告、承認されました。



ますよう、お待ちしております。



永井先生の講演に、皆さん興味深く耳を傾けました

第50回草上会総会のご案内

定時総会、懇親会を下記の通り開催致します。第50回の記念すべき草上会総会です。皆様お誘い合わせの上、ご出席下さい。

日時 2008年6月20日(金)
会場 リーガロイヤルホテル 東京

詳細は次号でお知らせします。

和祭・バザー・作品展

10月20日、21日秋晴れの中、女子大学の和祭に参加致しました。

今年のテーマは「Graceful women come on!」という「優美」や「上品」でした。草上会としては「Graceful women come back!」というところでしょうか。

草上会バザーは、今年も会員の皆様のご協力により盛況のうちを終ることができました。本年度は、女子大実行委員会より「早期販売終了を控え、できるだけ遅くまで販売し、和祭を盛り上げて欲しい」との意向を受け、中庭テントでは両日18時過ぎまでオープン致しました。アピールタイムでは草上会も壇上にて催し物の紹介を致しました。

21日は、会員相互の作品展を催し、染め物、絵画、書道、掛け軸、鎌倉彫、吊るし雛、写真等、皆様の隠れた才能に触れることができました。

和室では、会員によるお茶席(大日本茶道学会)が設けられ、若い男性のご来客もあり多くの方々に優美なひとときを過ごしていただきました。

ホールでは、国境なき医師団のパネル展示とビデオ放映を致しました。世界では、多くの援助を必要としている人々があり、あらゆる地域へ医療を届けてい



和祭では草上会員も大活躍

ることに衝撃を受けました。波多野敬雄院長と永井和子学長にも互敬会館3階までお越しいただき草上会としては喜ばしい限りでございました。

これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物であると深く感謝し、来年も多くの会員のご参加をお待ちしております。

平成19年度 第1回幹事会報告

平成19年5月19日(土)

- 議題1 平成18年度活動報告
- 議題2 平成19年度活動計画
- 議題3 新卒幹事紹介
- 議題4 運営委員紹介

春号発行後会長推薦にて、左記の2名の方が加わりました。

阿部久美子(27歳)

- 議題5 加藤奈緒美(27歳)
- 議題6 平成18年度決算報告
- 議題7 平成19年度予算
- 議題7 「幹事会を考える」

ハーティーデー

昨年5月より始まりました、ハーティーデーは、故安倍能成院長のかかげる「互敬」の2文字を理想とし、草上会会員相互の親睦と学習院女子大学の学生支援を目的として、互敬会館にて左記のように開催しています。

毎月第2月曜 13~16時

互敬会館3階

学習院女子短期大学並びに学習院女子大学の卒業生の皆様どなたでもふるってご参加下さい。

9年前学習院女子大学となり母校もすっかり素敵に変わりましたが、皆様の思い出の場所は、あちこちに残っております。気軽に母校をお訪ね下さい。

第4回パソコン教室

9月3・4・11・12日、徳富

先生のご指導によるパソコン教室が開催されました。3日に初級、その後名前シール、名刺、ハガキ印刷と昨年と趣を変えた作業を教えていただきました。

花の写真を取り込んだ名刺、家族の写真を取り込んだクリスマスカード、ペットの写真を取り込んだハガキ等、皆様ステキな作品をお持ち帰りいただきました。参加者は延べ46名でした。

皇居参観ツアー

11月5日、好天に恵まれ爽やかな秋晴れの下、81名の会員のご参加をいただき、草上会主催の「皇居参観ツアー」が行われました。

江戸城の面影を残す石垣を見上げながら皇居参観を終えた後、丸の内より2階建てバスツアーを楽しみました。皇居和田倉門周辺では、屋根のないバスから手が届きそうなイチョウ並木が黄金に色付き始めており、思わず歓声が上がりました。一段高いバスから眺める東京はまた違った顔を見せ楽しいバスツアーでした。

最後は丸ビルにおいて美味しいランチと回生を越えた楽しい語らいのひと時を持ち、充実した1日を締めくくりました。



都心の秋を満喫!

第2回草上セミナー

「塩ジイからの提言—今の日本を語る—」と題し、11月20日午後5時から、やわらぎホールにて塩川正十郎氏による講演会が

行われました。草上会員をはじめ多くの方々が集い、盛況のうちに終わることができました。

講演内容については、次号に掲載予定です。

キャンパスニュース

草上会がラオス国際協力研修のフレンドベンチーズ運動に参加するのも今年で3回目となりました。今年ハステキなパッチワークの生地を大量に寄付いただき委員会の後やハーティーデーにお集まりの折に縫って宿題で仕上げた物も合わせ80余集まり、7月末日、ラオス研修参加の学生に他の文具と共にお渡し致しました。草上会で真心込めて作ったフレンドベンチーズがラオスの皆様との国際交流の架け橋となりますよう願っております。

訂正・前号の「臨時総会開催報告」の記事に「会員への通知発送支出の件」を承認事項として載せましたが、報告事項でしたので訂正致します。

連絡・問合せ

〒162-8650 新宿区戸山3-20-1
学習院女子大学・草上会
TEL03・3203・6476
FAX03・3203・0076
取扱い時間：火～金曜
13時～16時30分

BOOK REVIEW

新刊紹介

学習院卒業生の最新著作を紹介!

老人ホームの絵画クラブ作品が一冊に!

「美智さん」明治40年生まれ、「辰治さん」大正7年生まれ、「和光さん」昭和2年生まれ……。以下64ページの小さな本の中に36名の名前と生まれ年が見出しとして立てられている。それぞれの名前のもとに、その本人が描いたさまざまなタッチの絵と著者のコメントが付されている。コメントはそれぞれの人物との日常の交流が感じられるほのぼのとしたもの。

ここに掲載されている絵の作者は、すべて老人ホームに入所・通所しているお年寄りで、施設の絵画クラブでパステルや色鉛筆や水彩を使って描いた作品である。

この一風変わった画集を作るにいたった経緯について、著者はアートセラピーとの出会いをまずあげる。長年一般企業に勤めていた著者が、仕事

に疲れを感じていた頃、アートセラピーに出会う。そして、その楽しさを知り、自らが感じた喜びを、さまざまな問題をかかえた子供たちや認知症のお年寄りに伝えようと、福祉の世界に飛び込む。その後職を得た老人ホームの仕事の中での実践の成果がこの画集の発刊につながった。

絵を眺め、文章を読むうちに、絵と文章との独特のコミュニケーションの深みに吸い込まれるような不思議な感触の一冊である。
著者は学習院女子短期大学卒業後、放送大学（生活と福祉専攻）卒業、芸術造形研究所でアートセラピーを学ぶ。野村総合研究所、住商オットー、藤沢育成会よし介工芸館を経て、現在神奈川県藤沢市内の特別養護老人ホームみどりの園に余暇活動支援員として勤務。

描くことを通じて

お年寄りの笑顔が語ってくれたこと

丹治千織



新風社

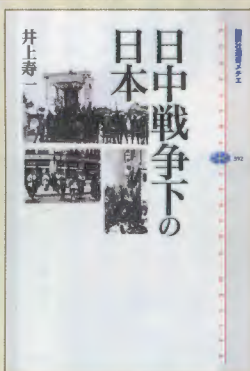
『描くことを通じて』
お年寄りの笑顔が語ってくれたこと
丹治千織・著（昭53短文）
新風社・刊 定価2100円＋税



ページをめくるとほのぼのとした絵が、日常のやりとりを紹介するコメントが詩のようでもある。



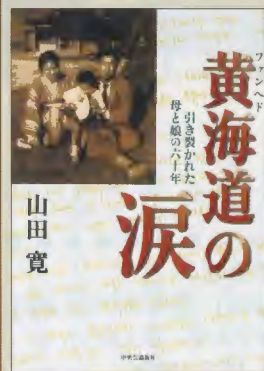
『手のひらの記憶』
はやしの志保・著(昭63短英)
結書房・刊
定価1300円＋税



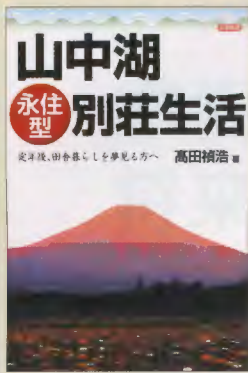
『日中戦争下の日本』
井上寿一・著（法学部教授）
講談社選書メチエ・刊
定価1500円＋税



『さようなら、みなさん!』
堀 徹男・著（昭38経）
木本書店・刊
定価1600円＋税



『黄海道の涙』引き裂かれた母と娘の六十年
山田 寛・著（昭34高）
中央公論新社・刊
定価1600円＋税



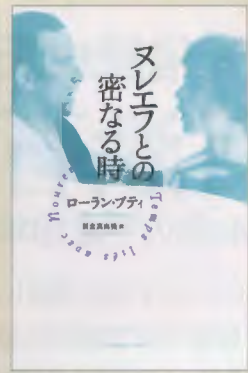
高田禎浩・著 (昭40政)
日新報道・刊
定価1400円+税

『山中湖永住型別荘生活』
定年後、田舎暮らしを夢みる方へ



小澤克己・著 (昭48経)
東洋出版・刊
定価1600円+税

『奥の細道』新解説
旅の事と旅の真理



ローラン・プティ・著 新倉真由美・訳 (昭64国)
新風舎・刊
定価1100円+税

『ヌレエフとの密なる時』



原口兼義・著 (昭13日高)
自費出版

『アルタイの有刺鉄線』



日高茜苑・著 (昭50短国)
新風舎文庫・刊
定価790円+税

『墨の香り』POST CARD BOOK



植西 聡・著 (昭44経)
集英社be文庫・刊
定価580円+税

『不安を自信に変える練習帳』



社団法人 化学物質評価研究機構/吉川治彦 (昭62化) 他・著
工業調査会・刊
定価2100円+税

EU新化学品規則
『REACHがわかる本』



電通シニアプロジェクト/池田百合 (昭63法) 他・編著
電通・刊 定価1800円+税

『団塊マーケティング』



新田友香子・著 (昭54国)
文芸社・刊
定価1000円+税

『謎のなる木十二プラスマイナス』



晩 豊彦・著 (昭34高)
文藝書房・刊
定価1470円+税

『二すじの道』
太平洋戦争の終結に向けて尽力したある外交官の話



中野義人・著 (昭35経)
文藝書房・刊
定価1260円+税

猿楽二代 『鬼神残影』



早瀬詠一郎・著 (昭54営)
集英社・刊
定価1700円+税

日本ばし芳町 『おふさ』



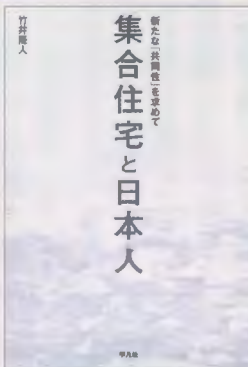
酒井里子 (昭54政)・中込清美 (昭55国) 他・寄稿
桜出版・刊
定価1429円+税

『五行歌集下巻』人を殺せとをしへしや
戦争をいかに語り伝えるか



山縣輝夫・著 (昭28政)
東京四季出版・刊
定価2800円 (税込)

句集 『苗木市』



竹井隆人・著 (平3政)
平凡社・刊
定価2800円+税

『集合住宅と日本人』



内藤麻衣子・著 (平15日)
新風舎・刊
定価1300円+税

『岡島啓介』

本欄でご紹介した著作は、桜友会事務局にお送りいただいたものです。ありがとうございました。なお、スペース等の関係で掲載できなかったものもあります。

安倍能成氏が師事した 夏目漱石と学習院

生誕140年の平成19年に様々な記念企画が!

平成19年(2007)は学習院が開校した明治10年(1877)から数えて130年。

戦後の新学習院誕生の昭和22年(1947)からは60年。

そして、新学習院の院長、初代大学長だった安倍能成氏が師事した夏目漱石が生まれた慶応3年(1867)からは140年である。



江戸東京博物館・東北大学編の公式ガイドブック。特別展は平成19年9月26日～11月18日に開催された。また、生誕地である新宿区の「新宿歴史博物館」でも、11月3日～12月16日に特別展「夏目漱石と新宿の文学者たち」が開催されていた。平成20年度より漱石の孫に当たる夏目房之介氏が学習院大学大学院人文科学研究科で教鞭をとる予定

夏 目漱石は慶応3年(1867)江戸・牛込馬場下生まれ。翌年が明治維新なので明治の年号と同じ年齢で年を重ね、大正5年(1916)に49歳で亡くなった。ちなみに生誕地(現・新宿区喜久井町)には生誕100年を記念して建てられた石碑があるが、碑文は第18代学習院長で初代学習院大学長だった安倍能成氏の筆によるもの。氏は東京帝国大学時代に漱石の教えを受けて以来、小宮豊隆、阿部次郎、森田草平各氏とともに四天王といわれた、門下生の中心人物だった。

平成19年(2007)は漱石生誕140年ということもあり、様々な記念企画が催されたが、江戸東京博物館開館15周年記念の特別展「文豪・夏目漱石」そのころとまなざし」が興味深かった。この特別展は朝日新聞入社100年、東北大学創立100周年記念でもある。晩年を過ごしたいわゆる漱石山房にあった蔵書類の展示が特徴的だったが、これは第2次世界大戦時に空襲を避けるため東北大学の図書館に移されたもの。東北大学との縁はこのことによる。この移設に尽力した小宮豊隆氏はのちに学習院大学で教授をつとめている。

漱石は学習院に足を運んだこともある。大正3年(1914)に学習院で講演をしている。講演録が講談社学術文庫の『私の個人主義』に収録されているので一読をおすすめしたい。

桜友会報 91号

2007.12.1.

編集/桜友会情報発信広告委員会
担当副会長 大和田孝(昭37化)
委員長 黒川光隆(昭43政)
副委員長 吉江隆信(昭50仏)

発行人/内藤頼誼 発行所/桜友会
〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院内
TEL03-3988-3288 FAX03-3988-3853
印刷所/JTB印刷

「ミライヲキリヒラケ。」

NEEED
KAJIMA



制作：株式会社・Production IG

100年をつくる会社
鹿島
KAJIMA CORPORATION